阿部弘國述

增訂和譯坤理全誌

東京書林 青山堂發兌

特31
558

和譯地理全志叙

地理ノ學其來ルコト久レ支那ニ於テハ太古黄帝ノ時始メテ野ヲ畫レテ都邑ヲ分チ纔ニ國ノ境界ヲ定ム其後夏ノ禹王洪水ヲ治メテ水土山川ヲ奠ムト云フ其事實ニ鴻荒ニ屬スト雖モ五大州中地理ノ審ニ取モ初メトナス後又許多ノ暹羅馬ヲ經テ羅馬ノ時ニ至リ新タニ一國ヲ征スレハ必ス其土ノ地圖ヲ齎ラシテ國ニ歸リ以テ之ヲ衆人ノ覽ニ供ス是時未タ此學ヲ以テ一學科ニ加フルヲ知ラスト雖モ既ニ以テ之ヲ要務トナ

セリ後紀元一百年前ノ頃羅馬ノ議事官地球上ヲ實測センカ為メニ地學者ヲシテ各邦ニ發遣セシム此擧今ニ至テ之ヲ察スルニ其探尋スル所地球面二十分ノ一ニ過キスト云フ是ヨリ先キ埃及王尼哥勿搦齊人ニ命シテ亞非利加ノ海濱ヲ實測セシメ三年ニシテ其功ヲ竣ス後又波斯王大流士以日阿伯啞海ト印度河口トヲ測量セリ又歷山王ノ亞細亞ヲ征討スルニ當リ詳カニ其道程ヲ記載シ且ツ之ヲ測度センカ為メニ二人ノ地學者ヲ隨行セシム而シテ後世ノ記者

其記行ニ就テ專ハラ要領ヲ薈萃シ地理ノ書因テ以テ起レリ久シウシテ後亞勒散得人伯德迷氏出テヽ大ニ此學ヲ開キ始メテ之ヲ一學科ニ加フ其說ク所詳密ニシテ記錄ノ体之ヲ歷史ニ倣ヒ經緯度ヲ以テ土地山川ノ位置ヲ定ム其之ヲ圖スルノ法精ニシテ確ナリ故ニ其書學科ノ一ニ登リ昔人中ノ第一ニ位ス紀元一千五百二十年普魯士人歌白尼氏出テヽ又大ニ此學ヲ研究シ更ニ伯氏ノ說ヲ增補シテ學術一層ヲ進ム爾來次第ニ講明シテ許多ノ實驗ヲ徑過シ駸々

トシテ歩ヲ全地球ニ進ムルニ至レリ本邦近来此學ヲ傳ヘ各種ノ譯述日ニ月ニ多ク人皆以テ實學ノ初門トナス茲ニ英人維簾氏ノ撰スル漢譯地理全志ノ一書ハ邦國ノ廣袤山川ノ位置田土ノ肥瘦氣候ノ寒暄人口ノ多少風俗ノ良否工技ノ精粗物産ノ品種貿易ノ盛衰教法ノ異同ヨリ以テ邦内ノ制度古今ノ沿革ニ至ルマテ詳細臚列シテ一モ漏ス所ナク實ニ地學ノ善本ト謂フヘシ故ニ今之ヲ國文ニ縷述シ加ルニ各國近代ノ事跡ヲ増纂シテ以テ児童ノ看ニ供セント

欲ス冀クハ世間幼學ノ輩勉メテ此學ニ從事シテ宇宙萬國ノ情勢ヲ歴覧シ聊以テ前程ノ用ニ備ンコトヲ是予カ諸子ノ為メニ企望スル所ナリ

明治六年十二月

阿部弘國　誌

和譯地理全志例言

一原本我國ヲ以テ東洋群島志ノ中ニ記載ス令改メテ之ヲ亞細亞州ノ前頭ニ掲ケ併セテ琉球ヲ以テ其次ニ列シ而シテ後チ支那ニ及フ此書素ト本邦幼學ノ讀本ニ供スル者ナレハナリ

一原本我國ノ事ニ於ル頗ル訛謬多シ是レ他ナシ本邦久シク外國ノ通信ヲ禁セシヲ以テ彼ニ確説ナキカ故ナリ今一々諸書ニ參攷シテ聊カ其概畧ヲ擧ク隨テ琉球ニ於

ルモ亦少シク改正ヲ加フ其他各國志中ニ於テ近日多少ノ沿革アル者ハ英亞開版ノ地理歷史等ニ據テ之ヲ參考シ以テ本條ノ末尾ニ揭示ス其補入スル者ハ例シテ圓圈ヲ以テ之ヲ區別ス但シ我國ノ一志及ヒ琉球ノ一志ハ其全文新述ニ係ルヲ以テ特ニ此例ヲ要セス

一原本素ト支那ヲ以テ主トナス故ニ各國志中ニ於テ其時代ヲ繫ルニ漢唐、元明等ノ文字ヲ以テス而シテ其支那國志ヲ觀ルニ歷世ノ史傳極メテ簡畧ナリ恐クハ各國志中年代ノ先後ヲ了解シ難カランヲ故ニ今支那ノ沿革ヲ詳論シテ以テ參看ニ便セント欲ス

一原本各地ノ經度ハ皆支那北京ヲ以テ零度トナシテ東西ノ度數ヲ定ム今悉ク之ヲ改メテ我東京ヨリ算出ス而シテ本文ハ皆支那ノ舊ニ依リ只改箕ノ數ヲ其下ニ今註ス

支那北京ノ我東京ニ於ル其距凡二十三度十六分ナリ而シテ原本北京ヨリ各國ノ度數ヲ箕スルニ大抵皆一度ヨリ以上ヲ錄シ其何分ニ至リテハ畧シテ之ヲ載セス故ニ

今我東京ヨリ改筭スルモ亦概子一度以上ヨリ録ス我國及ヒ琉球ノ如キハ諸書ニ就テ之ヲ考カヘ地圖ニ據テ之ヲ撿スルニ其度數原本ト異同アリ今校正シテ其實ヲ得特ニ之ヲ本文ニ記シテ別ニ北京ヨリノ數ヲ擧ケス

一原本各地ノ里法ハ亦悉ク我ニ改算シテ之ヲ註明ス支那ノ一里ヲ我三百五間、一、即チ零里、一四一二五ニ當テ一方里ヲ我零、々一九九五一五六二五方里ニ當ツ故ニ彼ノ大數ヲ改筭シテ往々一里或ハ一方里以内ノ小數ヲ出ス其小數五ヨリ以上ハ之ヲ一里ニ筭シ四ヨリ以下ハ之ヲ畧ス而シテ我國及ヒ琉球ノ如キハ亦更ニ考訂シテ之ヲ記シ敢テ原本ノ舊數ニ依ラス

一原本尺度ノ如キハ其亘リ大抵我ト同シキカ故ニ彼ノ何尺何丈ト書スルカ如キハ別ニ改筭ノ數ヲ其下ニ註録セス

一原本各處ノ地名ニ於テ其音譯ニ係レル者往々文字ノ形態ヲ誤リ句點ノ施設ヲ失スル者アリ今亦之ヲ參攷シテ詳カニ之ヲ是

正ス看者宜シク其原本ト異ナルヲ怪シムナカレ

一文中處々ニ支那ノ年號ヲ載ス其下必ス我國ノ年號ヲ嵌(カン)シテ以テ考索ニ便ニス但シ本邦又ヒ各國志中新タニ補入セル條ノ如キハ特ニ我國ノ年號ヲ錄シテ支那ノ年號ヲ擧ケス然リ而シテ支那小史ノ如キハ亦是新述ニ係ルト雖モ固ト其國ノ記事ニ關スレハ敢テ其國ノ年號ヲ廢スルヲ得ス依テ恒例ニ准シテ我國ノ年號ヲ其下ニ分註ス

看者之ヲ了セヨ

明治六年十二月

述者誌

和譯地理全志上篇目次

卷一

地理總志

地理名解

水土略分論

亞細亞(アジア)州全志

日本國志

琉球志

支那國志
滿州志
蒙古志
新疆志
西蔵志
高麗國志
東洋群島志

卷二

越南國志
暹羅國志
馬來志
緬甸國志
南掌國志
布魯克國志
廓爾喀國志
印度國志
錫蘭島志
俾路芝國志
阿富汗國志
西域回部志

羅斯藩屬志（オロシア）
波斯國志（ペルシア）
亞喇伯國志（アラビア）
土耳其藩屬志（トルケ）

卷三

歐羅巴州全志（エウロッパ）
羅斯國志（オロシア）
瑞典國志（スウェーデン）
連國志（デンマルク）
荷蘭國志（ホルランド　ネーデルランド）

比利時國志（ベルジック）
日耳曼列國志（ジェルマン）
普魯士國志（プロシア）
墺地利國志（アウストロリア）

卷四

土耳其國志（トルケ）
希臘國志（グリース）
太利國志（イタリー）
瑞士國志（スウイス）
西班牙國志（スパイン）

葡萄牙國志
佛蘭西國志
大英國志

卷五

亞非利加州全志
摩洛哥國志
阿爾及國志
突尼斯國志
的波里國志
埃及國志

努比阿國志
阿比西尼國志
哥多番國志
達夫國志
撒哈拉志
蘓丹國志
塞内岡比國志
幾内亞國志
公額國志
亞德志

亜然志
桑給巴國志
莫三鼻志
索發拉志
加弗勒里志
那達爾志
岌哥洛尼志
羣島志

卷六

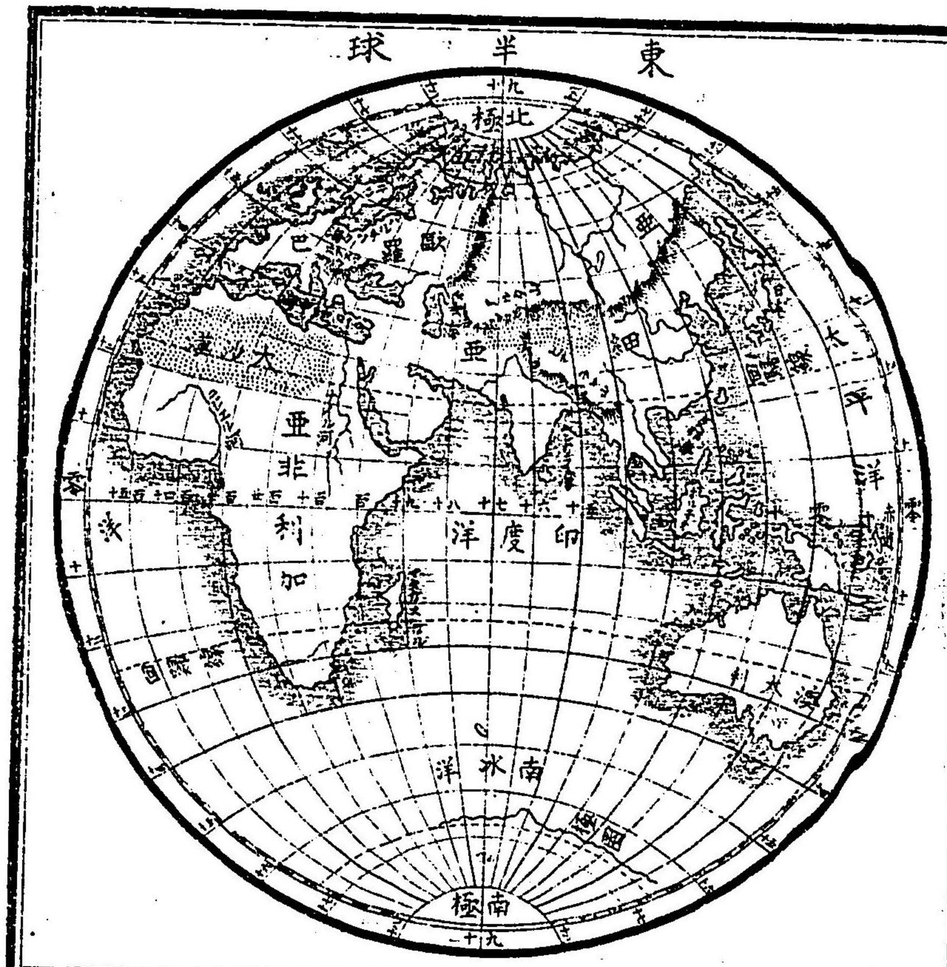
亞米利加州全志

峨羅斯亜米利加志
嗹國亜米利加志
大英亞米利加志
米利堅合衆部志
墨西哥國志
中亞米利加志
西印度群島志
新加拉那大國志
厄瓜多國志
委内瑞拉國志

歪阿那志
巴西國志
秘魯國志
玻里非國志
巴拉圭國志
烏拉乖國志
拉巴拉他國志
智利國志
巴他哉尼志

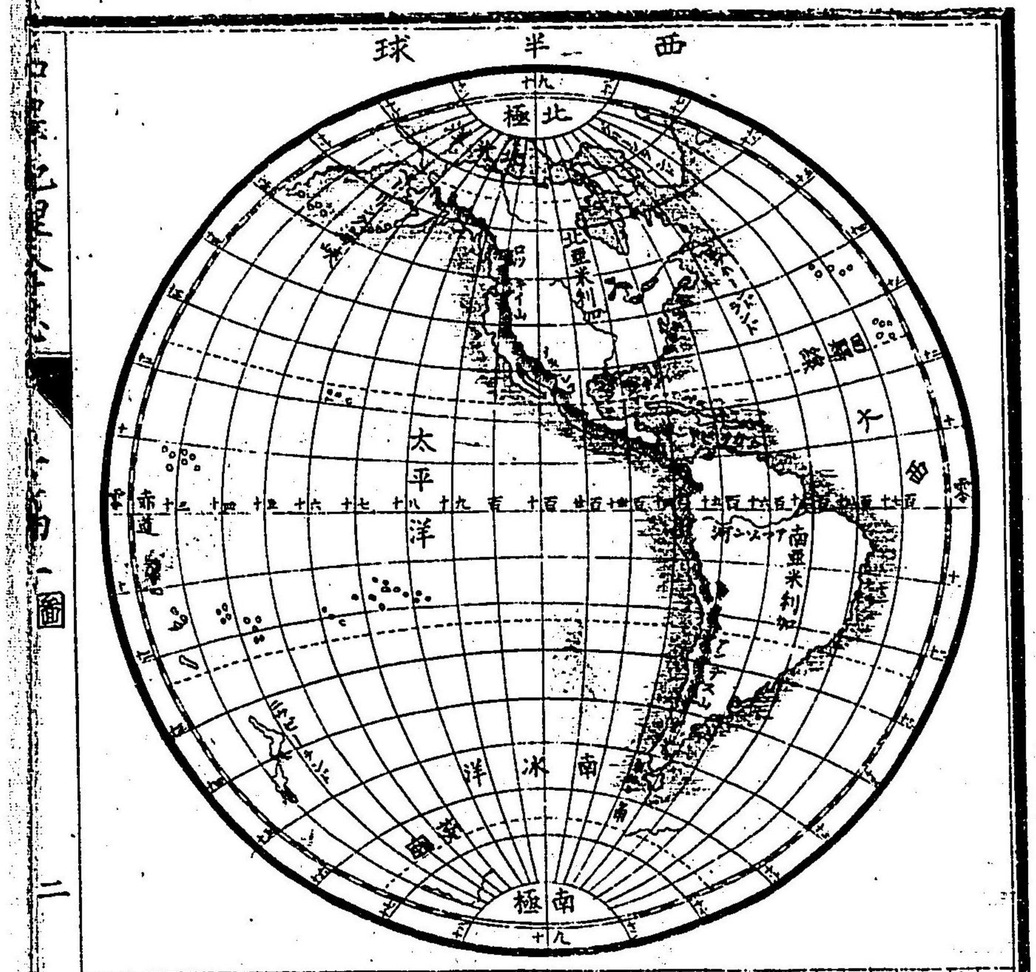
大洋群島全志
亞細亞南洋羣嶋志
非里比納群島志
羅門答臘島志
爪哇島志
澳大利羣島志
東洋群島志
南黑道群島志
大洋孤島志
以上

地球全圖



世界高山表 ㄙ米突

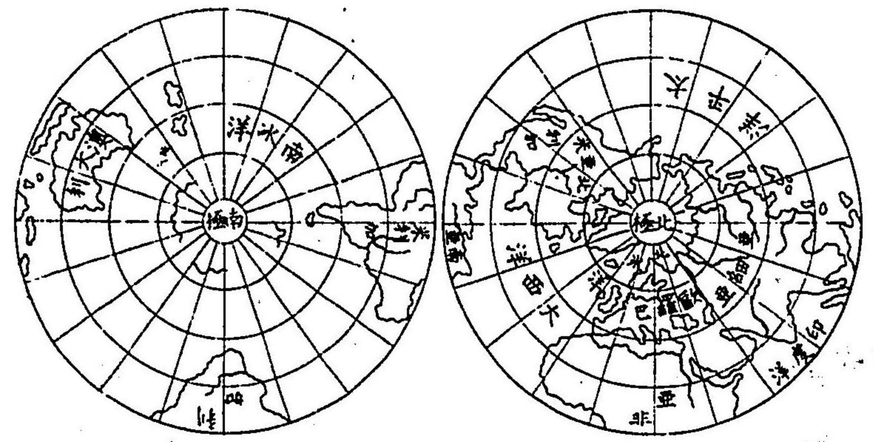
亞細亞州		
ドラヤリ	ヒマラヤ山脈	二千八百十六丈
ヒナシンケー	同	二千八百二十丈
コンロン山	チベット	一千七百八十丈
不二山	日本	一千四百十七丈
アララット山	アルタイ山脈シベリア界	一千二百二十丈
歐羅巴州		
モントブランク	アルペン山脈	一千五百八十二丈
モントゴロス	同	一千三百十丈
オルレトルスピッツ		一千二百八十五丈
モントロサ		一千五百二十丈
モントエルビュルス	コーカス山脈	一千八百丈
エトナ山	シシリー島	一千〇八十七丈
亞非利加州		
ケニヤ月山	脈サンジバル	二千丈
テチリベ山	テチリベ島	一千三百十八丈
亞米利加州		
モントシャスティクル	合衆部	一千四百丈
モントウード	同	一千四百丈
ブロウンロッキ山	脈英領地	一千六百丈
ポポカテペトル	メキレコ	一千七百七十二丈
サンエリヤス	白山脈 英領地界	一千七百九十丈
アギニアム	ギニアチマラ	一千四百四十五丈
ヒレンカムアシデス	山脈エクアドル	一千五百九十三丈
ケヤムベム	同	一千九百五十三丈
シムボレソ	同	二千百四十二丈
チムキバインバ	同ペリユ	二千百丈
アレキパム	同	二千〇三十丈
ソラト	同ボリビア	二千百七十八丈
イリヤマヲ	同	二千百十五丈
ブコウキニア	同チリ界	二千三百九十丈
濠太利州		
エグモント	ニウヂイランド	八百八十四丈



世界大河表

ミシシッピー	合衆部	二千六百四十里
アマゾン	ブラジル	二千五百里
ナイル	エジプト	一千四百三十里
揚子江	支那	一千三百六十里
ニゼル	中アメリカ	一千二百三十里
エニサイ	シベリア	一千百九十里
レナ	シベリア	一千百三十里
黒龍江	満州	一千百里
オビ	シベリア	一千〇九十里
怒江	ビルマ	一千〇四十里
黄河	支那	一千里
マケンジー	亞北部	一千里
印度河	インヂア	九百二十里
ラプラタ	ラプラタ	九百里
リヨデルト	メヒコ界	八百六十里
ラウレンス	カナダ	八百五十里
ヴオルガ	オロシア	八百十里
恒河	インヂア	七百九十里
ダニューブ	ジエルマン	七百二十里
ユウフレート	アジヤトルコ	七百里
オリノコ	ニウグラナダ	六百四里
コロンビア	合衆部	六百四十里
サンラランレスコ	ブラジル	六百三十里
カンボチヤ	安南	六百三十里
ニーブル	オロシア	六百里
キユルチル	亞北部	九百九十里
セチガル	ハークン	四百七十里
ドウイナ	オロシア	四百里
コロラド	合衆部	三百八十里
ドン	オロシア	三百三十里
オアイオ	合衆部	三百里
ライン	ジエルマン	二百八十里
ロアル	フランス	二百四十里

兩極中真之圖



地理名解略圖

阿部弘國和譯地理全志上篇卷一

英國　慕維蘭　原撰

地理總志

夫レ地理トハ乃チ地ノ理ナリ地ノ理ヲ察スル
ノ士之ヲ分チテ文質、政ノ三等トナス文トハ地
形ノ廣大旋動及ヒ其空際ニ在テ日月星辰ト比
較ヲナシ其運行晝夜四季ヲナスノ所以ト其表
面ニ劃スル所ノ圏線トノ事ニ就テ其理ヲ推明
スルヲ謂フ質ニ内外ノ別アリテ内トハ則チ地

内ノ形質各様ノ地層生物草木ノ遺跡ヨリ土壤海底ノ常ニ變遷アル等ノ事ヲ推明スルヲ謂フ外トハ則チ地面ノ形勢州島、山谷、高原、曠野、洋海、河、湖等ヨリ空氣ノ性質流動各處ノ燥濕（カハキウルホフ）雷電吸（シ）鐵（シヤクリヨク）ノ氣並ヒニ人民生物草木ノ種類等ノ事ヲ推明スルヲ謂フ政トハ地上ノ區分州、國、省、府、縣、城ヨリ戸口、教門、朝綱、史冊、風俗、技藝、土産等ノ事ヲ推明スルヲ謂フ此三者並ヒニ皆参究スヘシト雖モ政ヲ尤モ綱領トナス學者宜シク之ヲ熟思スヘシ故ニ先ツ其説ヲ詳論シテ後文ト質トヲ講明スヘシ

地理名解

地球ノ表面ハ水ト陸トヲ以テ之ヲ分ツ水又分レテ洋、海、灣、岔、峽、河、湖トナリ陸又分レテ州、島、隅、角トナル洋（オーシン）トハ水ノ支派（ミヤク）最モ大ナル者ナリ海（シー）トハ洋ノ支派最モ大ナル者ナリ灣（ゴルフ）トハ海ノ支派地濱ヲ繞ル者ナリ岔（チヤンネル）トハ水ノ大支二海ヲ接續スル者ナリ峽（ストレート）トハ二海ヲ接續シテ岔ヨリ小ナル者ナリ河（リヤル）トハ水ノ海ニ流入スル者ナリ湖（レキ）トハ水ノ地面ニ滙（クワル）シテ陸其外ヲ圍ム者ナリ州（コンチネント）

トハ陸ノ最モ大ナル者ナリ島（アイランド）トハ陸ノ水中ニ在テ州ヨリ小ナル者ナリ隅（ペニンシユラ）トハ陸ノ大半水ニ圍マル、者ナリ角（タナ）トハ彈丸（ゴクチヒサキ）ノ地海中ニ突起スル者ナリ

水土畧分論

地面ノ水分チテ五洋トナス一ヲ大平洋（パシフイツクオーシン）ト曰ヒ一ヲ大西洋（アタランチツクオーシン）ト曰ヒ一ヲ印度洋（インジアンオーシン）ト曰ヒ一ヲ南氷洋（アンタルクチツク）ト曰ヒ一ヲ北氷洋（アークチツクオーシン）ト曰フ陸分チテ五州トナス一ヲ亞細亞（アジア）州ト曰ヒ一ヲ歐羅巴（エウロツパ）州ト曰ヒ一ヲ亞非利加（アフリカ）州ト曰フ之ヲ東大州（イーステルンコンチネント）トナス一ヲ南亞米利加（アメリカ）州、北亞米利加（アメリカ）州ト曰フ之ヲ西大州（ウエステルンコンチネント）トナス其外大洋中ノ島嶼（シマ）甚タ多キ者アリ之ヲ合セテ一州トナシ總稱シテ大洋群島（オセアニア）ト曰フ

地面ノ度數ニ至テハ經線（ロンジチユード）ト緯線（ラチユード）トヲ以テ縱横（タテヨコ）ニ之ヲ區劃（スヂラヒク）シ四周三百六十度ヲ得毎度二百三十里（即チ我三十二里）ヲ得タリ

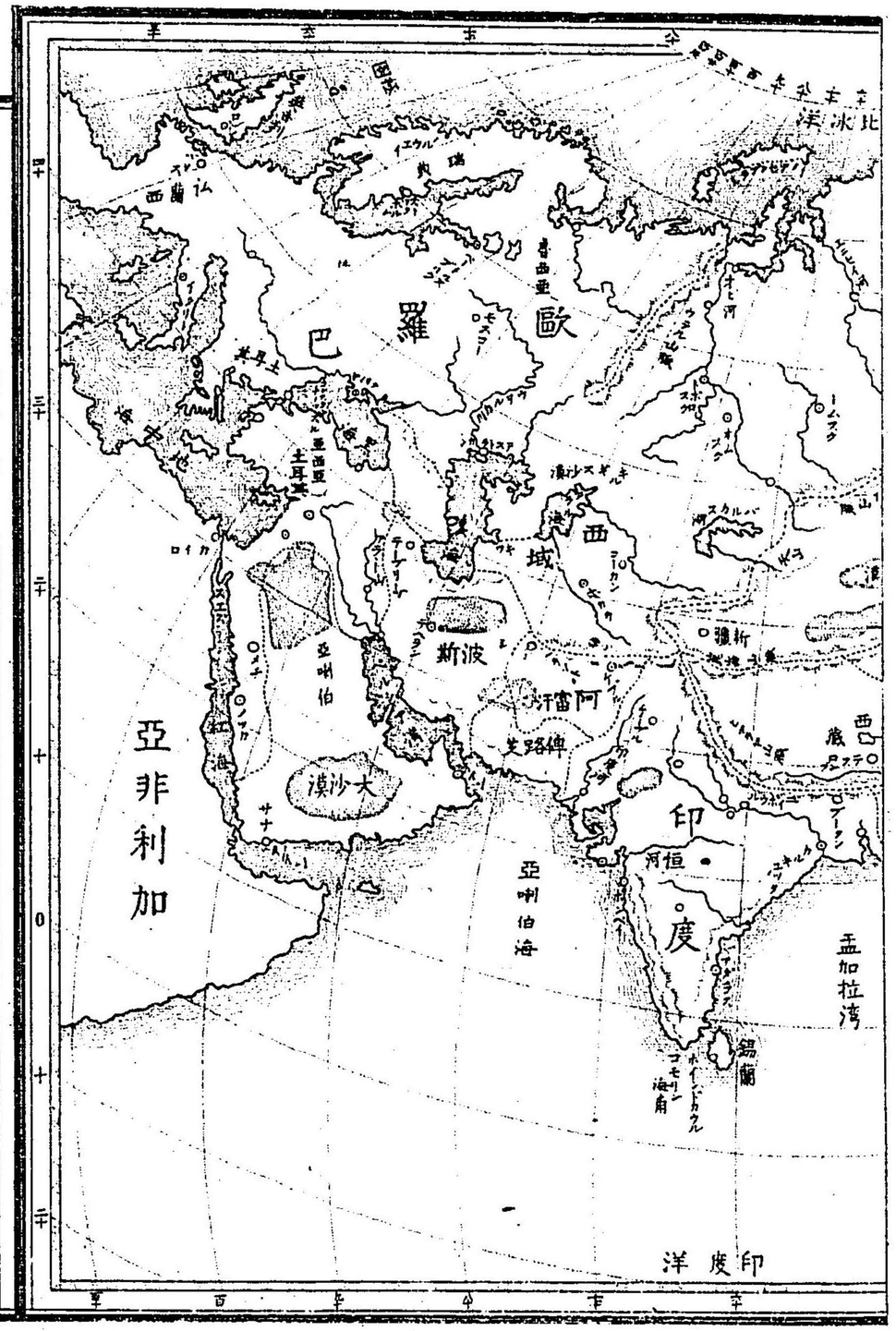
昔シ西國ノ地理學士支那ニ至レル者一百九十二里半（即チ我二十七里）ヲ以テ一度トナス其後至レル者ハ二百五十里（即チ我三十五里）ヲ以テ一度トナス今時ノ士ハ二百三十里（即チ我三十二里）ヲ以テ

一度トナス其詳カナルハ後ニ推論ス

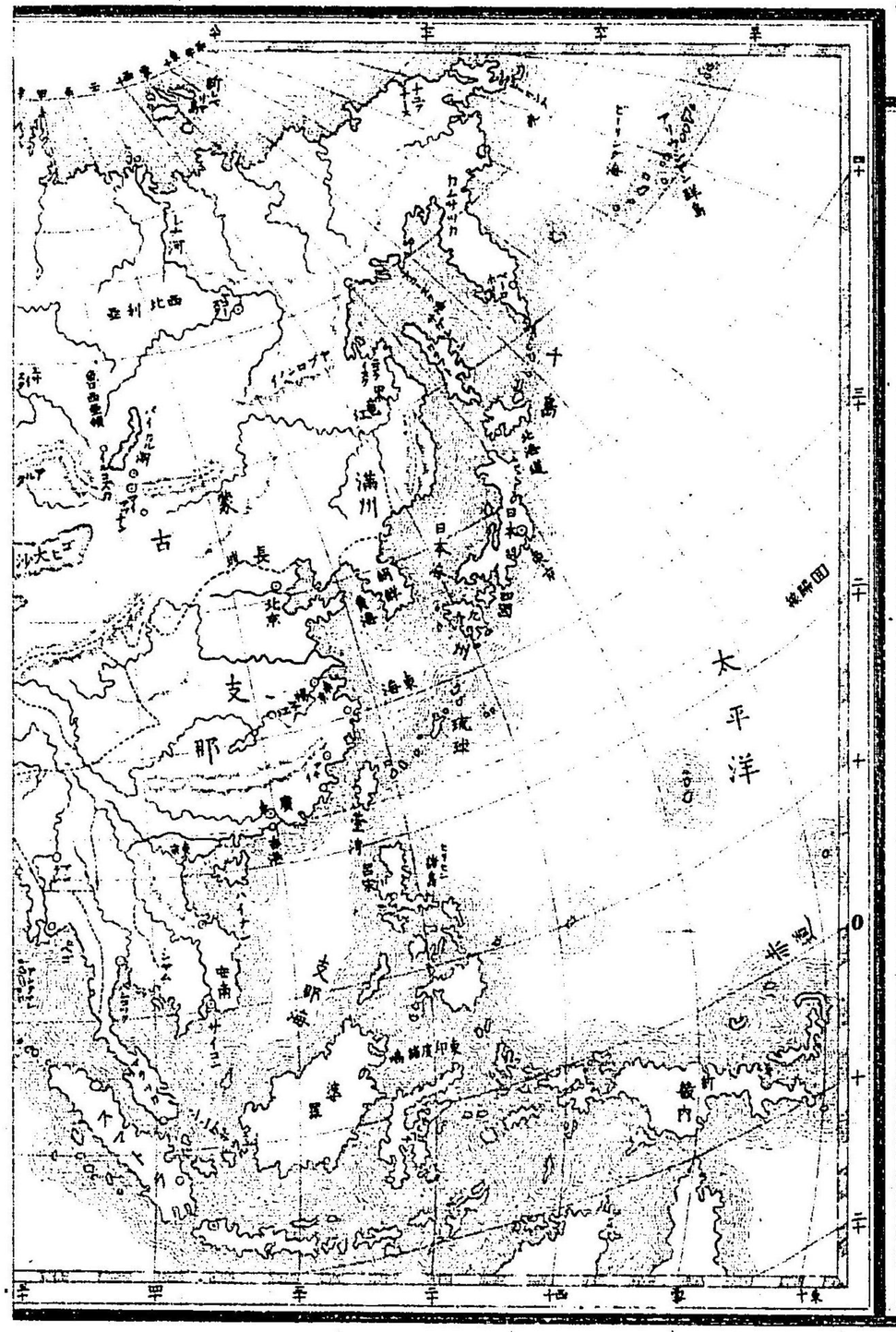
周圍八萬三千里（即チ我一萬一千七百二十四里）總計六萬六千萬方里（即チ我一千三百十六萬八千三十一方里）ニ至ル

今五州ノ文質政三等ヨリ其國、省、都、城、形勢、名號、人民、風俗、史冊（シキシ）、朝綱（コクタイ）、等ニ至ルマテ一々詳カニ後ニ列ス

亞細亞州全圖



北冰洋
歐羅巴
西域
波斯
阿雷汗
大沙漠
亞非利加
印度
亞喇伯海
孟加拉湾
印度洋



太平洋
支那
滿州

各異之種族

歐羅巴種族
支那種族
波里尼西種族
加利福尼土番
亞米利加土番
馬来種族
黒奴種族
合丁突種族
澳大利種族

亞細亞州全志

亞細亞ハ五州ノ最ト ナス其土地山嶺環繞シテ高原廣野多ク人文萃聚物類紛繁ナリ氣候ハ冷熱宜シキニ適シ田土ノ腴瘠ハ處ニ隨テ等シカラス特ニ左ニ詳カナリ

文論

州内緯線赤道ノ北一度二十分ヨリ起リ七十八度ニ至テ止マル經線支那北京午線ノ偏東七十三度三十分即チ我東京ノ偏東五十度三十分ヨリ起リ偏西九十度三十分即チ我偏西一百十三度三十分ニ至テ止ル

州内東ハ大平洋ニ至リ西ハ歐羅巴、亜非利加ニ連ナリ南ハ印度洋ニ接シ北ハ北氷洋ニ枕ム

州内長サ一萬七千七百里（即チ我二千五百里）濶サ二萬里（即チ我二千八百二十五里）之ヲ總計スルニ五萬八千萬方里（即チ我一千一百五十七萬一千九百六方里）ニ至ル

質論

州内山嶺多クシテ中ニ四山アリ北南ニ平列ス阿爾泰、天山、崑崙、雪山ト曰フ此四山ハ乃チ地球上山嶺ノ至高ナル者ニシテ皆峩羅斯、印度ノ間ニ在リ其他温的牙、東加的斯、西加的斯、尼克里等ノ諸山ハ皆印度ノ外ニ在リ興安嶺、ハ滿州、峩羅斯ノ間ニ在リ雲嶺、南嶺、北嶺等ハ皆支那ニ在リ印度固斯ハ阿冨汗、西域ノ間ニ在リ雲山ハ西域、新疆ノ間ニ在リ烏拉嶺ハ峩羅斯ノ西界ニ在リ高加索ハ裡海、黒海ノ間ニ在リ道羅ハ土耳其ニ在リ黒沙斯ハ亞剌伯ニ在リ火山ニ至テハ州内ニ十七座島中ニ二十九座アリ而シテ東方ヲ多シトナス後ニ隨テ註明ス

州内高原ノ大ナル他州ニ比ナシ西蔵波斯ノ義蘭ヲ首トナシ印度ノ徳干、亞喇伯、土耳其ノ間ニ數處アリ之ニ次ク又狗比河、日尼塞河、勒那河、恒河、怒江等アリテ涯岸甚タ廣ク郊野曠遠ナリ峨羅斯ノ境ニ在テ稍、沃地アリ其他ハ則チ皆藪澤相間ハリ沙漠限界ナシ而シテ大半西域、蒙古、阿冨汗、波斯、亜喇伯ノ諸國ニ在リ」

州隅東ニ在ルヲ堪察加、高麗ト曰ヒ南ニ在ルヲ越南、暹羅、緬甸、馬来以上四處合セテ一隅トナス印度、亞喇伯ト曰フ西ニ在ルヲ亞那多里ト曰フ

州内ノ角ヲ東北角、塞威内角ト曰フ北氷洋ニ在リ東角ト曰フ白令海峡ニ在リ羅巴徳加ト曰フ堪察加ノ南ニ在リ羅馬尼ト曰フ麻剌甲ノ南ニ在リ哥摩令ト曰フ印度ノ南ニ在リ拉斯拜ト曰フ亞剌伯海ニ在リ

州外島嶼甚多ク其大ナル者北氷洋ニ新西卑里アリ太平洋ニ東庫貢即チ本邦我古里利即チ地ノ日本、琉球、臺灣アリ印度洋ニ錫蘭馬地維一土斯、拉加底維斯アリ地中海ニ居比路、羅底アリ」

州外海ノ大ナル者東ニ堪察加、大拉詼、ホ樺太ヲ謂フ

日本海、支那東海アリ南ニ支那南洋、亞剌伯海
アリ西ニ紅海、地中海、黒海アリ
州濱灣ノ最ナル者一ヲ荷比海灣ト名ツケ北
氷洋ニ通ス一ヲ亞那的海灣ト名ツケ支那東海ニ
海ニ通ス一ヲ直隷海灣ト名ツケ支那東海ニ
通ス一ヲ廣南海灣ト名ツケ一ヲ暹羅海灣ト
名ツケ並ヒニ支那南洋ニ通ス一ヲ孟加拉海
灣ト名ツケ一ヲ馬大扳海灣ト名ツケ並ヒニ
印度洋ニ通ス一ヲ堪北海灣ト名ツケ一ヲ波
斯海灣ト名ツケ並ヒニ亞剌伯海ニ通ス

州屬ノ海峽一ナラス東北ニ白令峽アリ亞細
亞、亞米利加ノ間ニ在リ又北路西峽アリ日本、庫貢
島、滿州ノ間ニ在リ又北路西峽アリ庫貢
島ノ間ニ在リ南ニ息力峽アリ麻剌甲、息力ノ
間ニ在リ又麻剌甲峽アリ麻剌甲、籟門答剌ノ
間ニ在リ又巴爾克峽アリ印度、錫蘭ノ間ニ在
リ又巴白曼德峽アリ紅海口ニ在リ
州内ノ河紛繁ニシテ其至長ナル者南ニ印度
河アリ流レテ亞剌伯海ニ入ル又恒河、雅爾藏
布江、怒江アリ流レテ孟加拉海灣ニ入ル又湄

南河アリ流レテ暹羅海灣ニ入ル又瀾滄江アリ流レテ支那南洋ニ入ル北ニ荷比河、日尼塞河勒那河アリ流レテ北氷洋ニ入ル東ニ黑龍江アリ流レテ大拉詼海ニ入ル又黃河、洋子江アリ流レテ支那東海ニ入ル西ニ阿母河、約林河アリ流レテ鹹海ニ入ル又幼發拉的河、底格里河アリ流レテ波斯海灣ニ入ル

州内ノ湖一ヲ裡海ト名ツケ波斯ノ北方ニ在リ一ヲ鹹海ト名ツケ西域ニ在リ一ヲ青海ト名ツケ蒙古ニ在リ一ヲ死海ト名ツケ一ヲ萬湖ト名ツケ土爾其ニ在リ一ヲ貝加爾湖ト名ツケ哉羅斯ノ南ニ在リ其餘ノ各湖數フルニ勝ユヘカラス

州内氣候殊ニ異ナリ北ハ則チ嚴寒南ハ則チ暑濕東西ハ則チ温和中央ハ則チ冬冷ニ夏熱ス

州内寶貨蕃衍ニシテ之ヲ取ルニ盡キス採法ノ未タ精シカラサルニ因テ遂ニ多ク之ヲ見ス其有ル所ハ水晶、藍寶石、瑪瑙、白玉、珊瑚、五金、水銀、鑽石、炭煤、鹽、礜砂、礪砂等ニ止マル

州内草木ノ生スル各土同シカラス北方ハ嚴

寒磽瘠（ヤセツチ）ナルカ故ニ百卉（クサキ）蕭條（ソヤ、ヌ）タリ中央ハ土地乾燥（カハク）ニシテ沙礫相雜ハルカ故ニ草木茂カラス穀菓甚タ稀ナリ西方ハ温和沃肥（ヨキチメン）ナルカ故ニ草木、穀菓倶ニ茂盛ナリ南方ハ田土豐腴（コエル）ナルカ故ニ草木紛繁（シゲク）花卉嫣媚（タホヤカ）ナリ東方ハ山谷膏壤（コエチ）ナルカ故ニ草木花卉榮ニ向ヒ茂ヲ競ヘリ

州内禽獸充斥（ミチ）シ昆蟲蕃衍（シゲル）ス印度（インヂア）ノ莖地錫蘭（セイロン）ノ海島ニ象、虎、狼、猴、犀、牛ヲ産シ波斯（ペルシア）、亞喇伯（アラビア）ニ兇獅、猛猩、山狗、獨峰駝ヲ産ス此諸獸並ヒニ南方ニ生シテ北域ニ育セス麝香ハ西藏（チベット）ニ出テ貂（テン）、銀鼠、熊、鹿ハ北域ニ蕃衍（ヱルル）ス其餘禽獸昆蟲ノ種類極メテ繁シ

政論

本州人口統計五萬々アリ

州内教法甚タ多シ儒教ト曰ヒ釋教ト曰ヒ道教ト曰ヒ回教ト曰フ其他耶蘇教アリト雖モ州内ニ遍子カラス

州内工藝製造最モ精奇ナリ波斯（ペルシア）ノ地氈印度（インヂア）ノ細布支那ノ磁器（ヤキモノ）日本ノ油漆等ノ物ノ如シ」

太古ノ時印度最モ強冨ト稱ス禮義ノ興ル此ニ始マル又西方ニ毗連セル數國アリテ天下ノ權ヲ擅マヽニス彼ノ時土壤ノ大ナル人多ク之ヲ識ラス其後客商往來シテ漸ク州内ニ通ス宋ノ時ニ及ヒ成吉思可汗ト云者蒙古ヲ征服ス是ニ於テ支那、峩羅斯、歐羅巴數國ノ人始メテ亞細亞ノ廣濶ナルヲ知ル適歐羅巴ノ貿易始メテ興ルニ値ヒ商賈四方ニ盡ク通ス惟北界ノ地ハ渺茫トシテ未タ之ヲ知ル能ハス明ノ時ニ至リ峨羅斯ノ商人始メテ其處ニ行キ獸皮ヲ販賣シテ還リ倶サニ其地ノ形状ヲ述フ峩羅斯皇帝乃チ人ヲシテ之ヲ探訪セシメ兵ヲ以テ之ヲ征シ遂ニ州ノ北界ヲ賓服ス

州内ノ政事ハ大同ニシテ小異律令法度歷世皆之アリ政事ノ遞變一端ナラス帝王ノ交代一姓ナラス朝章國憲時ニ沿革アリ新君遷都屢處ヲ異ニス國土既ニ多ク朝政隨テ同シカラス或ハ帝ト稱シ或ハ王ト稱シ或ハ相トナシ或ハ牧トナス名號各殊ニシテ爵位亦異ナ

リ木文特ニ支那數國ニ就テ泛論ス故ニ帝王ノ交代一姓ナラスト稱ス我國ノ如キハ實ニ今古一姓ノ三

州内學俗ノ優絀同シカラス昔時ハ五州靈敏ノ寂タリ今ハ則チ大抵衰頽ス人ノ性情ニ至テハ外貌端莊嚴肅ニシテ内實ニ卑屈狡猾ナリ其大ナル者ハ親族和睦終リヲ慎シ三遠キヲ追フノ數大端ニ過キス而シテ通都大邑頗フル貪殘ナル者多ク狹小ノ地却テ人情ヲ体ルニ至ル俗往々刧掠ニ慣ヒ僻山荒野ニ隱匿シ男子ニ至テハ妻妾ヲ室ニ滿テヽ淫迭度ナキニ至ル女子ノ如キハ公會ニ臨ミ學文ヲ習フヲ許サス是ヲ以テ女子亦其才性ヲ伸フルヲ得ス本文亦專ハラ支那數國ノ形況ニ因テ之ヲ概論ス素ヨリ闔州ノ廣大ナル毎邦必スシモ此ノ如キノミニアラス我國今日ノ如キ既ニ其陋習ヲ一洗シテ大ニ民風ヲ興起スルノ勢アリ

州内國ノ大小一ナラス日本、琉球、支那、滿州、蒙古、新疆、西藏、高麗、東洋羣島、越南、暹羅、馬來、緬甸、南掌、布魯克、廓爾喀、印度、錫蘭、俾路芝、阿富汗、西域、峩羅斯屬、波斯、亞喇伯、土耳其屬ト曰フ其他大英、佛蘭西、葡萄牙、連國等ノ兼攝ノ地ニ至ル

マテ一々分晰（ワケテカキツラヌル）註明スベシ

日本國志

我日本ハ亞細亞（アジア）ノ東ニ在リ緯線赤道ノ北三十一度ヨリ起リ四十五六度ノ間ニ至テ止マル經線東京ノ偏東十六度ヨリ起リ偏西十一度ニ至テ止マル東南二方ハ倶ニ大平洋ニ面シ北ハ蝦夷（エゾ）羅斯（ロシア）領ニ接シ西ハ支那、朝鮮ノ兩國ニ對ス全國四箇ノ大島ニシテ中央ノ一島ヲ本土トナシ其南ニ在ルヲ四國トナシ西ニ在ルヲ九州トナシ北ニ在ルヲ北海道トナス其他數千ノ小島アリテ之ニ附屬ス其大ナル者ヲ五島（肥前ト曰ヒ天草島（肥前ト曰ヒ種ケ島（薩摩ト曰ヒ屋久島（薩摩ト曰ヒ平戸島（肥前ト曰ヒ八代島（周防ト曰ヒ小豆島（備前ト曰ヒ

對馬（ツシマ）島（薩摩ト曰ヒ大島（伊豆ト曰ヒ八丈島（伊豆ト曰ヒ長島（薩摩ト曰ヒ三宅島（伊豆ト曰フ長サ五百里濶サ或ハ六十里或ハ三十里之ヲ總計スルニ二萬二千九百八十四方里人口共ニ三千三百萬アリ其形勢ハ狹長ニシテ東北ヨリ斜ニ西南ニ綿亘シ其狀恰モ游龍ノ洋面ニ横タハルカ如シ國内山脈縱列（ツラナル）シテ或ハ起伏（タテヨコニツラナル）シ或ハ屈曲（ウネル）シ北地ヨリシテ

西土ニ達ス其間高山處々ニ多ク其尤ナル者ヲ
富士山ト曰フ高サ一千四百丈山容整嚴(ととのひおごそか)四時積
雪ヲ見ル羽前ノ月山信濃ノ御嶽下野ノ日光山
大和ノ大峯、白山越中ノ立山日向ノ霧島山常陸
ノ筑波山肥前ノ温泉嶽羽後ノ鳥海山陸奥ノ岩
城山後志(シリベシ)ノ後志(シリベシ)羊蹄(ヤテ)山等其峻高ナルコトヲ云ニ
亞ク其他肥後ノ阿蘇山信濃ノ淺間山ノ如キハ
皆有名ナル火山ニシテ日夜頂巔(イタヾキ)ヨリ烟ヲ噴テ
息マス富嶽ノ如キモ古昔火山ナリシト云フ土
地ノ幅員狹窄ナルカ故ニ河流アリト雖モ甚タ
長大ナラス上野ノ利根川信濃ノ木曾川千隈(チクマ)川
等ヲ以テ國中ノ大河ト稱ス湖アリ琵琶湖ト曰
フ近江ニ在リ霞浦ト曰フ常陸ニ在リ諏訪湖ト
曰フ信濃ニ在リ猪苗代(イナシロ)湖ト曰フ岩代ニ在リ周
廻或ハ一百里ニ至ル氣候ハ各地同シカラスト
雖モ大約東北ハ寒冷ニシテ西南ハ暖熱ナリ田
土肥沃ニシテ草木暢茂シ禽獸蕃息ス物産ニ至
テハ處ニ隨テ之アリト雖モ其最モ著名ナル者
ハ穀菜、蚕種、磁器、漆工、絹帛、生絲等是ナリ
我國太古ノ時之ヲ神代ト稱ス鴻荒(コウクワウ)ノ世以テ

詳カニ攻カフヘカラス神武帝師ヲ日向ニ起シ寰宇(ヨノナカ)ヲ平定シテ大和ノ橿原ニ都シ遂ニ天子ノ位ニ即ク之ヲ人皇第一ノ祖トナシ實ニ萬世無窮ノ業ヲ創ム景行帝ノ時筑紫ノ熊襲(クマソ)叛ス帝之ヲ親征ス數年ニシテ復叛(タ)ス皇子日本武ヲシテ之ヲ征セシム後チ又東夷叛ス日本武行テ之ヲ平ラク仲哀帝ノ崩スルニ及ヒ神功后政ヲ攝シ自カラ三韓ヲ征シテ之ヲ降ス應神帝ノ時百濟(クダラ)ノ王仁(ワニ)入朝シ始メテ支那ノ學ヲ傳フ帝崩シテ二皇子互ヒニ位ヲ讓リ

三年ニ及ンテ定マラス弟遂ニ自殺シテ兄ニ登祚(タラヒニツク)ヲ奬(スヽ)ム兄茲ニ立ツ之ヲ仁德帝トナス帝仁ニシテ能ク民ヲ矜レミ百姓之ニ懷ク欽明帝ノ時百濟佛像及ヒ經卷ヲ獻ス此時天下大ニ疫ス朝廷以テ神ノ怒トナシ佛像ヲ江ニ投シテ伽籃ヲ焚ク敏達帝ノ時百濟復佛(タ)ヲ渡ス蘓我馬子(ソガノウマコ)之ヲ敬崇(タツトム)ス物部守屋之ヲ拒ミ擧テ之ヲ江ニ棄ツ此時疫癘亦大ニ行ナハル世以テ佛ノ崇トナス用明帝ノ時ニ及ンテ馬子厩戸皇子ト謀リ終ニ守屋ヲ殺シテ其怨ヲ報ス

皇極帝ノ時皇子中大兄（ナカノオホヘ）中臣鎌子ト共ニ蝦夷馬子ノ子入鹿馬子ノ孫ヲ殺ス蘇我氏累世國柄（ダイ〳〵ケンペイ）ヲ弄シ恣マヽニ弑虐（キミヲコロス）ヲ行ナフ是ニ至リテ終ニ誅ニ伏ス天智帝即チ中大兄位ニ即キ藤原鎌足即チ中臣鎌子ニ任シテ政令ヲ整ノフ中興ノ名實ニ空シカラス稱德帝ノ時僧道鏡寵（キニイル）アリ連（シキリ）ニ進ンテ大臣トナリ遂ニ朝憲（カミ）ヲ無（ナミ）スルニ至ル帝崩シテ皇太子其罪ヲ譴メ之ヲ下野ニ放ツ桓武帝ノ時都ヲ山城ニ奠（サタ）メ平安城ト曰フ神武帝都ヲ橿原ニ建テシヨリ歷代遷都（ウツル）數フルニ堪ヘス

此ニ至テ遂ニ永世ノ基ヲ定ム朱雀帝ノ時平將門叛シ偽宮（ニセゴテン）ヲ下總ノ猿島ニ營シテ皇宸（ニシシノスマヒ）ニ擬（マネル）ス平貞盛藤原秀郷等伐テ之ヲ誅ス後冷泉帝ノ時阿倍賴時、貞任叛ス源賴義ヲシテ之ヲ征セシメ九年ニシテ平ク堀河帝ノ時清原武衡家衡叛ス源義家ヲシテ之ヲ征セシメ三年ニシテ平ラク之ヲ前九年後三年ノ役ト曰フ保元元年崇德上皇亂ヲ作シ事敗レテ讃岐ニ流サレ黨（クミ）與悉ク刑ニ處セラル後チ平治元年藤原信賴源義朝等ト謀（ムホン）叛シ上皇及ヒ二條帝

ヲ宮中ニ幽ス平清盛時ニ熊野ニ詣ル途ニシテ急ヲ聞キ直チニ歸リテ之ヲ討ス信頼誅ニ伏シ義朝亦其下ニ殺サル之ヲ保元平治ノ亂ト曰フ藤原氏累葉權ヲ王室ニ專ハラニシテ宗族朝廷ニ蔓延ス清盛勲功ヲ奏シテ官顯要ニ昇ルニ及ンテ藤原氏終ニ衰ロフ平氏隆盛十餘年ニシテ源頼朝伊豆ニ起リ平氏ヲ倒シテ府ヲ鎌倉ニ開キ兵馬ノ權ヲ專ハラニス北條氏陪臣ヲ以テ國命ヲ取リ主家ヲ傾ムケ朝廷ニ迫リ生殺予奪皆己レヨリス九世ノ間獨リ時宗アリ剛毅ニシテ其職ニ任ヘ元使ヲ斬スルノ舉真ニ國體ヲ辱カシメス元ノ忽必烈我カ報セサルヲ怒リ弘安四年十萬ノ師ヲ發シテ九州ニ寇ス會颶風アリ大ニ其舩艦ヲ破ル我軍勢ニ乘シ擊テ之ヲ鏖ス孫高時ニ至リテ奢敖ヲ極ム後醍醐帝久シク王室ノ振ハサルヲ憤リ頻ニ義師ヲ募リテ恢復ヲ圖ル楠正成等各召ニ應シ遂ニ高時ヲ誅シテ鎌倉府ヲ滅ス之ヲ建武ノ中興ト曰フ未タ幾ハクナラス足利尊氏又叛シ光明帝ヲ擁シテ後醍醐帝

ニ抗ス是ニ於テ南北兩朝ニ分レ屢兵ヲ搆ヘテ互ニ爭鬪(イクサ)ス數十年ニシテ南朝漸ク凋零(サビレ)シ遂ニ和議ヲ講シテ北朝ニ合ス而シテ足利氏ノ權益熾ンナリ應仁元年細川、山名亂ヲ作シ尋テ武田、上杉、毛利、北條等ノ群雄(ゴウケツ)四方ニ割據(タテコモリ)シ國家紛擾(ミダレル)殆ント寧歳(ダジナトシ)ナク足利氏ノ運亦漸ク衰ロフ織田信長尾張ニ興リ亂ヲ撥シ正ニ反ヘシテ足利氏ニ代リ功業(テカラ)漸ク立チテ日未タ久シカラス天正十年虐臣(ムホンニン)光秀ニ弑セラル豐臣秀吉時ニ中國ニ在リ主ノ害セラルヽヲ

聞キ師ヲ還ヘシテ光秀ヲ山城ノ山崎ニ誅ス是ニ於テ秀吉威望(サセイ)益高ク身關白トナリテ天下ヲ一統ス末年ニ及ンテ遥カニ朝鮮(即チ古ヘノ三韓)ヲ襲ヒ師未タ全功ヲ奏セスシテ薨ス秀頼不才ニシテ父ノ業ヲ繼ク能ハス德川家康兵ヲ發シテ之ヲ滅シ六十餘州昇平(タイヘイ)ヲ致ス爾來久シク治安ニシテ綱紀律令(ハットキヤリ)次第ニ整ノフ源氏始メテ覇府(シヤウグンフ)ヲ開キシヨリ茲ニ至テ七百有餘歳政權全タク武門ニ委ス慶應三年德川慶(ヨシ)喜(タフ)將軍ノ職ヲ解クニ及ンテ政權再タヒ朝廷

ニ歸シ復古ノ業始メテ就ル明治元年今上皇帝東京ニ幸シ輦ヲ此地ニ駐メテ大政ヲ行ナフ百度是ニ於テ普ク革新シ廣ク海外ニ通シテ良法ヲ採擇ス爰ニ我カ國外邦ノ交通ヲ攷カフルニ今ヲ距ル三百有餘歳天文十一年ニ當リ葡萄牙人始メテ豊後ニ來テ通商ヲ乞フ當時民間ニ異教ヲ傳フル者アリ其後チ慶長年間英吉利、荷蘭亦来舶ス此時異教益滋蔓シ終ニ九州島原ノ亂アリ徳川府是ニ於テ葡萄牙人ヲ逐ヒ獨リ支那、荷蘭ノ商船長崎ニ來ル

ヲ許ス是ヨリ他船ノ入港ヲ禁スル二百有餘歳遂ニ嘉永二年ニ至リ始メテ米合衆國ト通信ノ約ヲ定メシヨリ尋テ英佛峩ノ三國及ヒ葡普、瑞士、比、以、嗹西、墺布等ノ諸國陸續トシテ來ル是ニ於テ横濱、大坂、兵庫、長崎、新潟、函館ノ數港互ヒニ消長アリト雖ヒ貿易ノ繁盛ナル實ニ前日ノ未タアラサル所ナリ

朝綱ニ至テハ皇統歴代之ヲ男ニ傳フ間亦女帝アリテ親カラ臨御ス人民頗フル廉耻ヲ貴ヒ性情忠直交誼ニ厚ク巧藝精作百事ニ勤勉

ス官府專ハラ開明ヲ事トシ兵衛ヲ陳シ技術ヲ講シ開拓ヲ務メ學校醫院ヲ開テ衆庶ヲ愛育シ書庫博物館ヲ建テヽ人智ヲ擴充シ汽車電線郵便ヲ設ケテ急ヲ四方ニ通ス衣服ノ制冠帽ノ度古昔皆唐ニ擬シテ之ヲ作ル今時次第ニ其風ヲ釐革（アラタメ）シ衣冠ノ制度始メテ定マル人民久シク釋教ヲ奉シ儒教亦其間ニ行ナハル今ヤ各處ニ教場ヲ設ケ普子ク衆善ヲ開陳（ヒロメル）シテ億兆（バンミン）ヲ振興（ハゲマス）ス維新以来僅カニ六年之ヲ前代ニ比スルニ其進歩極メテ速カナリ將ニ

海外諸國ト隆盛ヲ競ハント欲ス

通國分チテ畿内八道トナシ毎道分チテ國トナシ國又分チテ郡トナス國凡ソ八十四、郡凡ソ七百二十四而シテ北海道ノ一區ヲ除クノ外皆府ト縣トニ依テ之ヲ統治ス府ハ則チ三、縣ハ則チ六十其制或ハ兩道ニ跨カリ或ハ數國ヲ兼子或ハ一國ヲ劃シテ兩三分トナシ之ヲ管理ス東京ト曰ヒ京都ト曰ヒ大坂ト曰フ之ヲ三府トナス神奈川ト曰ヒ兵庫ト曰ヒ長崎ト曰ヒ新潟ト曰ヒ埼玉ト曰ヒ熊谷ト曰ヒ足柄ト曰ヒ千葉ト曰

ヒ新治ト曰ヒ茨城ト曰ヒ橡木ト曰ヒ奈良ト曰ヒ堺ト曰ヒ三重ト曰ヒ度會ト曰ヒ愛知ト曰ヒ濱松ト曰ヒ靜岡ト曰ヒ山梨ト曰ヒ滋賀ト曰ヒ岐阜ト曰ヒ筑摩ト曰ヒ長野ト曰ヒ宮城ト曰ヒ福島ト曰ヒ磐前ト曰ヒ若松ト曰ヒ水澤ト曰ヒ岩手ト曰ヒ青森ト曰ヒ山形ト曰ヒ置賜ト曰ヒ酒田ト曰ヒ秋田ト曰ヒ敦賀ト曰ヒ石川ト曰ヒ新川ト曰ヒ相川ト曰ヒ豊岡ト曰ヒ鳥取ト曰ヒ濱田ト曰ヒ飾磨ト曰ヒ北條ト曰ヒ岡山ト曰ヒ小田ト曰ヒ廣島ト曰ヒ山口ト曰ヒ和歌山ト曰ヒ名東ト曰ヒ愛媛ト曰ヒ高知ト曰ヒ福岡ト曰ヒ三潴ト曰ヒ小倉ト曰ヒ大分ト曰ヒ佐賀ト曰ヒ白川ト曰ヒ宮嵜ト曰ヒ鹿兒島ト曰フ之ヲ六十縣トナス今一々各道ノ形勢ヲ述ヘテ左ニ詳カニス

畿内北ハ北陸道ニ接シ東ハ東山、東海ノ兩道ニ連ナリ西ハ山陰、山陽ノ兩道ニ界シ東南ハ南海道ニ交ハリテ南方海波ヲ受ク南北稍、長ク東西稍、短クシテ五國相依ル山城、大和、河内、和泉、攝津ト曰フ實ニ五十五郡ヲ兼有ス氣候寒暄宜シキ

ヲ得テ風少ナク五穀豊備シ茶葉、棉花多シ山城ノ地ニ京都アリ則チ歴世ノ故都ニシテ宮室壯麗市街清淨地窄小ナリト雖モ繁華稠密殊ニ山水ノ景ニ富メリ攝津ノ大坂府之ニ並ンテ亦一都會ヲナス地形平坦溝渠縱横豪商相望ミ富家相接ス其西方ニ神戸港アリ兵庫縣ニ屬ス外舶輻輳貿易熾盛此地ヲ以テ至緊至要トナス物産ハ則チ花剛石、茶、漆、棉布、麻布、酒、磁器、鐵器、等ヲ出タス

東海道西ハ畿内及ヒ南海道ニ接シ東南ハ大平洋ニ臨ミ北ハ東山道ト依附シ北東ヨリ南西ニ亘リテ十五國ヲ連ヌ武藏、安房、上總、下總、常陸、相模、甲斐、伊豆、駿河、遠江、三河、尾張、志摩、伊勢、伊賀ト曰フ實ニ一百二十九郡ヲ轄有ス氣候温和ニシテ冬春ノ交ニ風多ク稻麥饒足魚鹽亢茶絲糖亦隨テ富メリ東京府ハ則チ武藏ニ在リ城門四達壁壘三疊方四里ノ間到ル處市ヲナス乃チ徳川氏ノ故趾ナリ明治以降都ヲ玆ニ遷シ萬機ノ出ル處萬民来翕スル人烟日ニ増シ戸口月ニ加ハリ水陸ノ搬運舟車並ヒ進ム實ニ東方第一ノ都

會ナリ其南邊ニ横濱港アリ商舘華麗(ウツクシク)壯大ヲ極メ舩舶雲集貿易熱鬧(サカリ)我國ノ埠頭(カウエキハ)是ヨリ最ナルハナシ物産ハ則チ水銀、雲母(キラ)、花剛石、礪砥(トイシ)、珍珠(シンジユ)、茶、葡萄(ブタウ)、紅花(ベニ)、藍餅(アヰダマ)、蠟、絲、蚕種、絹、紬、葛布、棉布、竹器、馬等ヲ出タス

道ノ東南ニ小笠原島アリ一ニ無人島ト稱ス島數九十有四父島アリ母島アリ兄弟姉妹ノ諸島アリ昔時小笠原貞頼始メテ此地ヲ査出(ミダス)シ毎島得ルニ隨テ其名ヲ下ス小笠原島ハ則チ其總稱ナリ土地ノ肥瘦(コユヤセ)同シカラス氣候極メテ酷熱(アツキ)ナリ物産ハ則チ椰子(ヤシ)、橄欖(カンラン)、龍眼肉、檳榔(ビンラウジ)子及ヒ甘蔗(サタウ)等ヲ出タス

東山道西ハ畿内ニ接シ南ハ東海道ヲ受ケ北ハ北陸道ニ靠(ヨ)リ最北三方海水ヲ帶ヒ南西ヨリ北東ニ亘リテ十三國ヲ併ス近江、美濃、飛彈、信濃、上野、下野、岩代、磐城、陸前、陸中、陸奥、羽前、羽後、ト曰フ實ニ一百三十三郡ヲ包有ス氣候料峭(サムケ)ニシテ霜露早ク降ル鑛山アリ嘉穀アリ蚕桑ニ富ミ馬牛ヲ養ナフ物産ハ則チ銀鑛、礪砥(トイシ)、硯材、稲米、漆、蠟、紅花(ベニ)、紙、絲、縮緬、紬絹、麻布、棉布、磁器、藥料等ヲ出タス」

北陸道西ハ畿内山陰道ニ接シ南ハ東山道ニ界シ北ハ日本海ニ濱シ南西ヨリ北東ニ向ヒテ六國ヲ串穿(ツナゲル)ス若狹、越前、加賀、能登、越中、越後ト曰フ而シテ又佐渡ノ一島アリ海表ニ孤立シテ越後ト相對ス之ヲ併セテ七國トナシ實ニ三十六郡ヲ該有ス氣候嚴寒ニシテ風力強ク西南ハ魚鹽ニ便ニ東北ハ米穀ニ宜シ新潟港ハ越後ニ在リ即チ新潟縣ニ屬ス洋舶蜂屯萬檣林立ス物産ハ則チ金、銀、鉛、硝石、硯材、蠟漆(ハチノゴトクアツマリ)、縐絺(エチゴチヂミ)、紙(ホバレラ)、海膽(ウニ)等ヲ出タス

山陰道東ハ畿内北陸道ニ接シ南ハ山陽道ト相背シ北ハ日本海ニ枕(ゲ)ミ東ヨリ西ニ横タハリテ七國ヲ接合ス丹波、丹後、但馬、因播、伯耆出雲、石見ト曰フ更ニ又隱岐ノ一島アリ伯耆出雲ト海水ヲ隔ツ合セテ之ヲ八國トナシ實ニ五十三郡ヲ總有ス氣候冷熱俱ニ強ク茶、煙及ヒ礦物多シ物産ハ則チ金、銀、鐵、鉛、礪砥、紙、蠟、絹、絲、布匹等ヲ出タス

山陽道東ハ畿内ニ接シ北ハ山陰道ト相背シ南ハ内海ニ面シ東西ニ衡(ヨコタハル)シテ八國ヲ連ヌ播磨美

作、備前、備中、備後、安藝、周防、長門ト曰フ實ニ八十一郡ヲ管有ス氣候温平ニシテ風火ナク魚、鹽、米、紙、糖、倶ニ豊備ス物産ハ則チ鐵、漆、磁器、席片（ビンゴオモテ）、藤匣等ヲ出タス

南海道ハ東畿内及ヒ東海道ニ接シテ一國ヲナス者ヲ紀伊ト曰ヒ内海中ノ巨島ニシテ東畿内ト海灣ヲ隔ツル者ヲ淡路ト曰ヒ東ハ紀伊北ハ山陽道西ハ九州ト皆海水ヲ隔テヽ相對スル者ヲ四國ト曰フ阿波、讃岐、伊豫、土佐、是ナリ之ヲ總合シテ六國トナシ實ニ五十三郡ヲ跨有ス氣候暖燠（アタヽカ）ニシテ魚、鹽、木料ノ利最モ多シ物産ハ則チ礪砥（トイシ）、木炭、柑藍（ミカン、アヰ）、紙、漆器、白蜜、肉脯（カツホブシ）等ヲ出タス

西海道東ハ中國四國ト海峽ヲ隔テ南ハ大平洋ニ抵リ西北ハ日本海ニ枕（ゾ）ミ北ヨリ南ニ向ヒテ九國ヲ綴合（ソフ子ル）ス筑前、筑後、豊前、豊後、肥前、肥後、日向、大隅、薩摩ト曰フ即チ九州是ナリ實ニ九十四郡ヲ總有ス氣候暖多クシテ南方ハ殊ニ熱シ魚、鹽、米、粟、茶、煙葉ノ利甚タ大ナリ長崎港ハ肥前ニ在リ即チ長崎縣ニ屬ス支那（チヤナ）、荷蘭（ホルランド）ノ商舶古ヨリ是ニ聚集ス近コロ漸ク寂寥（サムシキ）ニ屬ス物産ハ則チ水

晶、硫黄、砥石、紅花、蠟、火酒、纈纈、匹段等ヲ出タス
二島ハ九州ノ西北海中ニ在リ壹岐、對馬ト曰フ
共ニ二郡ヲ統有ス其地褊小ニシテ亦甚タ沃ナ
ラス古昔文那三韓ノ我國ニ来レル者我邦人ノ
彼ノ地ニ至レル者共ニ必ラス路ヲ此ニ取レリ
是ヲ以テ二地ノ名夙ニ著シクシテ遂ニ各國ト
並ヒ立テ國ヲナセリ物産ハ則チ人参、海膽、鯨魚、
綾布等ヲ出タス
北海道北ハ樺太（カバフト）歐羅巴人此一島ヲ庫貢又大拉諫ト曰フト對峙シ東
ハ大平洋ニ枕ミ西ハ日本海ニ面シ南ハ東山道

ト海峽ヲ隔テ南ヨリ北ニ向ヒテ十一國ヲ合併
ス渡島、後志、石狩、天鹽、北見、膽振、日高、十勝、釧路、根
室、千島（チシマ）歐羅巴人此一國ヲ古里利ト曰フト曰フ實ニ八十六郡ヲ
括有ス氣候冱寒ニシテ雪深ク山彙蟠窟河道流
通シ五葉、鳳尾殊ニ多ク五穀以テ人ヲ養フニ足
ラス西南隅ノ海岸ハ皆本土ノ人民遷居シ土人
ハ概子山中ニ住ス此諸國素蝦夷ト名ツク今ハ
北海道ト稱シ開拓使ヲ置テ之ヲ管理ス官廳ハ
則チ渡島ノ函館ニ在リ其地貿易殊ニ繁クシテ
外國ノ估帆碇泊絶ヘス其西方ニ松前アリ西岸

ニ至ルノ要路トナス土人ノ風俗皆斷髮ニシテ男子ハ耳ニ金環ヲ穿チ女子ハ顔面手臂ニ刺青（イレズミ）ヲ施コス文字ナク姓氏ナク耕作ヲ知ラス粒食（ヨツラクラ）ヲ用ヒス唯好ンテ酒ヲ飲ミ煙（タバコ）ヲ喫シ魚腊ヲ以テ日用ノ食ニ充テ魚皮木皮ヲ剥テ衣服ニ供ス性情質朴殆ント太古ノ風アリ他日教化ノ普子キニ至ラハ一大盛地トナランコト期シテ俟ツヘシ極北樺太ノ一島ハ峩（オロシア）人雜居ノ域ニシテ北門ノ鎖鑰（クニザカヒ）忽カセニスヘカラサルノ地ナリト云フ物産ハ則チ熊羆（シクマ）麋（オホシカ）鹿馴（トナカヒ）鹿鷲（ワシ）鳥許多ノ海魚等ヲ出タス

八道ノ外又屬國アリ琉球ト名ツク其略左ニ掲ク

琉球志

琉球ハ亞細亞（アジア）ノ東ニ在リ緯線赤道ノ北二十四度ヨリ起リ二十九度ニ至テ止マル經線我東京ノ偏西十度ヨリ起リ十六度ニ至テ止マル其國我九州ノ南方ニ在テ洋中ニ星列シ長サ二十五六里濶サ或ハ十里或ハ一二里之ヲ總計スルニ一百六十方里人口共ニ十二萬アリ其形勢ハ島

嶼蟠紆(ヤワダカヤル)ニシテ峯巒(ミネコヤマ)處々ニ多ク氣候暖熱海風凉ヲ送ル土壤(トチ)膏腴(コエ)ニシテ穀菓豊盛ナリ

風俗循良(オダヤカ)ニシテ作事ニ勤ム男女皆結髮簪(カミヲユヒカフガヒ)ヲ加フ衣服飲食言語文字大抵我國ト相似タリ海風寂モ烈シキカ故ニ家屋ノ制甚タ卑シ朝綱ニ至テハ上古天孫氏世ヲ傳フル二十五紀權臣利勇ニ滅ホサル是ヨリ先源為朝此地ニ至リ大里(オホザト)按司ノ妹ヲ娶リテ子ノ尊敦ヲ生ム尊敦終ニ義兵ヲ擧ケ利勇ヲ討シテ國祚ヲ踐ム之ヲ舜天王トナス爾来國王屢姓ヲ代ヘ治亂興廢一ニアラス察度王ノ時始メテ明ニ通シ後常ニ其冊命(オホセ)ヲ受ク數世ヲ歴テ國又亂レ衆舜天王ノ遠裔金丸ヲ推シテ王トナシ之ヲ尚圓王ト稱ス即チ中山王ノ始祖ナリ王尚寧ノ時德川氏之ヲ招クニ來ラス終ニ島津ノ兵ヲシテ之ヲ征セシメ尚寧ヲ捕ヘテ之ヲ降ス德川氏此地ヲ以テ家久ニ與ヘ久シク島津氏ニ隷(ヌグ)セシム近日朝廷邸ヲ我東京ニ賜ヒ始メテ今主尚泰ヲ藩王ニ冊封ス

通國三十餘島相距ル遠カラス本島ヲ冲繩(オキナハ)島ト

曰フ一ニ大琉球島ト名ツク屬島ノ最モ大ナル
者ヲ大島ト曰ヒ其次ヲ德島、永良部島ト曰フ府
ヲ立ル三、州ヲ分ツ五而シテ三十五郡ヲ統有ス
三府ハ則チ中山、山南、山北ト曰フ俱ニ本島ニ在
リ王常ニ中山ノ首里ニ都ス故ニ中山王ノ稱ア
リ島ノ西岸ニ運天港アリ西南ノ隅ニ那覇港ア
リ海舶ノ出入常ニ繁シ河流小ニシテ山嶺卑シ
其稍大ナル者ヲ八重頭嶽ト曰フ山南ニ在リ龜
山、辨嶽、浦添山、ト曰フ中山ニ在リ恩納嶽、佳楚嶽、
及ヒ富藏河ト曰フ山北ニ在リ物産ハ則チ銅鐵、
硫黄、炭煤、硯材、礪砥、樟腦、茶、薑、米、烟葉、紅花、上布、芭
蕉布、火酒、珊瑚、珍珠等ヲ出ス

支那國志原本支那ヲ以テ中華ト稱ス又中
華ニシテ彼ノ夏等ノ稱アリ是皆其國ノ謂
ニ今悉ク之ヲ改メテ乃チ支那ト稱ス
支那ハ亞細亞ノ東ニ在リ緯線赤道ノ北二十度
ヨリ起リ四十一度ニ至テ止マル經線其國北京
ノ偏東七度即チ我東京ノ偏西十八度
偏西十六度ヨリ起リ偏西十八度
即チ我偏西ニ至テ止マル東ハ大平洋ニ連ナリ
四十一度
西ハ蒙古、西藏ヲ距リ南ハ南洋、交趾ニ至リ北ハ
滿州、蒙古ニ接ス長サ五千里即チ我七
百六里濶サ三千

六百里（即チ我五百九里）之ヲ總計スルニ四千三百萬方里（即チ我八十五萬七千九百十七方里）人口約子三萬六千萬アリ其形勢ハ北長城ヨリ起リ安慶ニ至テ止マル其間崗巒隱現原濕延袤シ近海ノ地ハ卑クシテ潤ホヒ土田肥沃米麥茂盛ナリ東ハ則チ運河ニシテ街衢橋柵倶ニ美麗ヲ極ム中央ハ則チ山嶺聳秀ニシテ草木繁ク農耕力ヲ盡シテ播種ニ服事ス南ハ則チ峯巒嶄巖ニシテ西東ニ列シ樹林叢密風景清シ河ノ大ナル者ヲ黄河洋子江ト曰ヒ直隷ノ北河廣東ノ珠江並ヒニ水路ニ便ニシテ

商賈輻輳ス又湖ノ大ナル者アリ洞庭ト曰ヒ鄱陽ト曰フ地利一ナラスシテ氣候各異ナリ大約北ハ寒ク南ハ暑ニ東ハ温和西ハ燥熱ナリ物産ニ至テハ處ニ隨テ之アリト雖モ採取ノ未タ精シカラサルニ因テ遂ニ多ク見ル能ハス茲ニ産スル所ハ銅鐵、水銀、白鉛、寶石、煤鹽、藥料等是ナリ其他草木蕃衍ニシテ禽獸充斥ス

○支那太古ノ時荒遠ニシテ稽ヘ難シ今ニ及ンテ四千餘歳聖賢屢顯ハレ帝王時ニ代ル堯ト曰ヒ舜ト曰フ之ヲ二帝トナス文運ノ開ク

ル實ニ斯ニ基ス禹王洪水ヲ治メテ舜ノ禪ヲ
受ケ之ヲ子孫ニ傳ヘテ國ヲ夏ト號ス以下殷
周ト曰ヒ秦ト曰ヒ漢ト曰ヒ皆一代ノ國號ニ係ル　殷ノ湯王之ニ繼キ
周ノ武王之ヲ兼ケ亦各〻後裔ニ傳フ之ヲ三王
トナス周ノ末世五霸（齊桓、晉文、宋襄、楚莊、秦穆、迭ヒニ興リ
七國（韓、魏、趙、齊、楚、燕、秦、）紛爭シテ民生ヲ聊ンセス秦ノ
始皇周室ヲ倒シ酷暴ヲ以テ衆庶ノ先トナリ
書ヲ焚キ儒ヲ坑ニシ長城ヲ築ク漢ノ高祖義
師ヲ起シ秦ニ世ヲ滅シ楚項羽ヲ夷ラケテ君德ヲ
修ム中葉ニ及ンテ王莽僭偽シ一タヒ國祚ヲ

傾壓ス光武之ヲ討シテ漢家ヲ綏復シ之ヲ後
漢ト號ス後チ魏、蜀、呉ノ三國均シク漢鼎ヲ爭
ソヒ各〻一方ニ峙立シテ互ニ相交戰ス晉之
ヲ併セテ纔カニ治平スト雖モ未タ幾ハクナ
ナスシテ又五胡（氐、羯、羌、鮮卑、胡、）ノ亂ニ會シ終ニ東晉
ノ偏安ヲ致ス是ヨリ南北兩朝ニ分レ南ハ則
チ宋齊梁陳ノ四家正統相襲テ共ニ東晉ノ故
都ニ據ル北ハ則チ魏ノ一國中土ノ紛擾ヲ定
メテ獨リ強大ヲ極メ以テ南方ニ抗ス魏又分
レテ東西トナリ東魏ハ北齊ニ傳ヘ西魏ハ周

ニ讓ル隋始メテ天下ヲ一統シ驕傲ノ風忽マチ亡ヲ招ク唐ノ高祖隋ノ苛禁ヲ除キ威名赫然トシテ盛世ヲ開ク賢哲是ニ於テ大ニ輩出シ文辭崇高前人ニ軼ス久シウシテ後チ漸ク陵夷シ遂ニ五代ノ衰運ニ迨ル後梁ト曰ヒ後唐ト曰ヒ後晉ト曰ヒ後漢ト曰ヒ後周ト曰フ數十年間五タヒ姓ヲ易ヘ政教地ニ墜チテ骨肉殘害ス宋ノ太祖擾亂ヲ撥シ善政隆渥民ト休息ス學藝ノ盛ンナル之ヲ漢唐ニ讓ラス中世以降遼夏蚕食シ金人頻リニ入寇ス宋之ヲ

支フル能ハス都ヲ臨安ニ遷シテ南宋ト號ス既ニシテ遼夏金ノ數國稍々湣滅シ元ノ世祖全土ヲ併呑ス南宋是ニ至テ終ニ喪滅シ國始メテ蒙古人ノ有トナル元主支那ヲ取テヨリ以来勢益猖獗ニシテ餘波日本ヲ襲ソヒ十萬ノ將卒盡リ海中ニ沒ス數世ノ後チ明ノ太祖勃然トシテ支那ヲ恢復シ制度ヲ改メ禮樂ヲ正シ衣冠皆唐制ニ遵カフ清ノ世祖韃靼ノ種族ヲ以テ明末ニ興リ滿州ヨリ侵入シテ遂ニ明ヲ滅シ支那ノ全土ヲ括有ス版圖ノ大實ニ

昔日ニ倍シ制令風俗大ニ一變ス輓近漸ク怠慢ニ流レ人民專等ハラ鴉片ヲ喫スルヲ好ム林則徐ト云者之ヲ憂ヘ悉ク英商ノ鴉片ヲ奪テ之ヲ焚焼ス英國大ニ其暴擧ヲ怒リ軍艦ヲ發シテ天津ヨリ入冠シ頻リニ進ンテ數所ノ城廓ヲ陷レイル清甚タ之ヲ恐懼シ道光二十二年即チ我天保十三年地ヲ割キ金ヲ與ヘテ和ヲ修ス是ヨリ香港ノ一土永ク英ノ所有トナル咸豊九年即チ我安政六年英ノ使天津ニ至ル國人誘テ之ヲ伐ツ英ノ使大敗シ僅カニ身ヲ以テ逃ル佛ノ使亦其難ヲ蒙ムル明年即チ我萬延元年英佛船艦ヲ擁シテ直チニ天津ニ入リ屢國人ニ克テ遂ニ北京ヲ焼ク清復タ許多ノ償金ヲ出タシ地ヲ割テ以テ成ヲ行ナフ是ヨリ先キ盜賊處々ニ蜂起シ連年平ラカス其尤ナル者ヲ長髮賊ト稱ス政府カヲ英米ニ藉リテ之ヲ鎮靜ス峨國亦支那ノ衰弱ニ乘シ近日漸ク邊境ヲ侵奪ス比歳以來國力極メテ挫折シ外邦ノ謾辱ヲ受ル尠ナカラス人民常ニ報復ノ念ヲ抱ケリ今帝載淳登祚ヨリ以來賢臣李鴻章等大ニ弊政

ヲ振興シ逐次ニ海外ノ良法ヲ諮問ス異日將ニ一大強國トナランモ亦知ルベカラス

朝綱ニ至テハ君位歷代之ヲ男ニ傳フ政治ハ皇帝自カラ之ヲ操持シ大小ノ羣臣君命ヲ奉シテ羽翼ス士ヲ取ル專ハラ詩賦文章ニ於テシ許多ノ實學ニ至テハ舍テ之ヲ論セス是ヲ以テ人民徒ラニ浮華虛文ヲ事トシ風俗靡然トシテ久シク頽敗ス近來政府大ニ其陋習ヲ洗滌シ少年數人ヲ遣テ米國ニ游學セシメ自國ノ兵法ヲ廢シテ更ニ西洋ノ新式ヲ訓練シ

最良ナル兵器ヲ購求シテ之ヲ韃靼ノ軍隊ニ備ヘ盛ンニ港場ヲ設ケ貿易互市ヲ勉メ鐵道ヲ開キ電線ヲ架スルノ業方ニ各土ニ施行セントス教法ハ儒釋二教ヲ以テ宗トナシ間亦道教回教ヲ崇スル者アリ其他猶太教耶蘇舊教耶蘇新教等之ヲ禁シ之ヲ許ス一定ナラス

通國分チテ十八省トナス詳カニ左ニ列ス

直隷省ハ支那ノ極北ニアリ東ハ山海關ニ達シ西ハ長城殺虎口ヲ距リ北ハ邊塞蒙古ニ控シ南ハ海及ヒ山東ニ界ス冬ハ則チ嚴寒夏ハ則チ淡

熇ナリ順天府ヲ以テ京都トナス其土地周圍四十里即チ我六里城内外ヲ分チテ又二十八里即チ我四里ニ至ル宮室輝煌殿宇雄壯衙署峻麗ニシテ街市喧闐人居錯雜貿易殊ニ盛ンナリ海口ハ則チ天津府ニ在リ水陸ノ通衢津梁ノ要害ニシテ繁華奢麗ヲ極ム保定ヲ首府トナス乃チ省會ナリ土地瘠セテ農事ニ勤勞ス物産ハ則チ金、銀、煤、鹽、穀、菓、牲畜等ヲ出タス

山東ハ西ニ運河アリ東ニ滄海アリ中間山谷豊腴等シカラス地曠漠ニシテ人烟稀レニ耕作ニ難ク往々他方ニ遷移シテ生計ヲ求ムルニ至ル物産ハ則チ絲、靛、穀、菓、棉布等ヲ出タス濟南ヲ首府トナス其省會ナリ

山西ハ壤地褊小崇山峻嶺アリテ地豊饒ナラス居民冣モ勤苦ス北ハ邊塞ニ控シ西南ハ黄河ニ界ス物産ハ則チ煤、穀、菓、煙葉、棉花等ヲ出タス太原ヲ首府トナス其省會ナリ

陝西ハ嶺峻ニ谷深ク土地膏腴ナリ物産ハ則チ鉛、玉、馬、牛、絲、大黄等ヲ出タス西安ヲ首府トナス其省會ナリ

甘肅ハ地新疆ニ近クシテ民多ク健壯ナリ東ハ則チ山嶺森嚴西ハ則チ沙漠限界ナク人稀レニ地瘠セ五穀多カラス物産ハ則チ毡氈、水煙、硇砂、樺皮等ヲ出タス蘭州ヲ首府トナス其省會ナリ

江蘇ハ北ニ黄河アリ中ニ運河洋子江アリテ海ニ通ス土壤膏腴山水清秀ナリ人民ノ工作精巧ニシテ男ハ耕シ女ハ織ル呉淞、上海洋船聚泊シ貿易殊ニ盛ンナリ江寧府一ニ南京ト名ツク地方濶大ニシテ寺院亭塔家モ多ク總督駐劄シ事務ヲ理スルノ處ナリ穐州ヲ首府トナス其省會ナリ此地支那ニ於テ家モ鬧熱賢才多ク集マリ文物倶ニ具ハル物産ハ則チ絲、紬、緞、羅、綾、絹、穀、菓、魚、鹽等ヲ出タス

安徽ハ邱陵聯絡シテ江河絶ヘス物産ハ則チ布、茶、漆、墨、穀、菓、烟、蔴等ヲ出タス安慶ヲ首府トナス其省會ナリ

浙江ハ山清ク水秀テ土壤膏腴ニシテ蚕桑ニ富ミ風景繁華美麗ナリ物産ハ則チ絲、紬、塩、茶等ヲ出タス杭州ヲ首府トナス其省會ナリ

江西ハ山川相連ナリ壤地褊小ニシテ居民勤勞

レ米穀積聚ス鄱陽湖其中央ニ居ル景徳鎮ニ於テ磁器ヲ甄陶シ以テ天下ニ輸出ス物産ハ則チ金、銀、銅、錫、鉛、米、絲、茶、木料、書籍等ヲ出タス南昌ヲ首府トナス其省會ナリ

福建ハ山多ク嶺衆クシテ居民生業ニ勤苦ス厦門、福州ノ地ハ舟外洋ニ通スルヲ以テ沿海ノ人水ヲ以テ陸トナシ四方ニ来往ス福州ヲ首府トナス其省會ナリ物産ハ則チ銅、鐵、錫、水銀、茶、紙鹽、菓物等ヲ出タス

河南ハ平原寛坦ニシテ田疇豊盛黄河毗連シテ民耕種ニ勤ム物産ハ則チ絲、紬、穀、菓、煙、靛、木料等ヲ出タス開封ヲ首府トナス其省會ナリ

湖北ハ江湖潤澤ニシテ田地豊肥ナリ物産ハ則チ蘇鐵、硃砂、桐油、竹、茶、魚、獣等ヲ出タス武昌ヲ首府トナス其省會ナリ其地ノ居民大半魚ヲ捕ヘテ業トナス今ニ至テ尚土人ノ苗裔アリ物産ハ則チ桐油、水銀、硃砂、鐵、蘇、黄蝋等ヲ出タス長沙ヲ首府トナス其省會ナリ

四川ハ土地寛モ腴ヘ米穀積聚シ山川險峻ニシ

テ洞峽深邃ナリ西藏ト綺壤相錯ハリ商賈輻湊舟車往來ス川江ハ洋子江ノ上流タリ物産ハ則チ金、銀、銅、鐵、錫、鉛、茶、絲、紬、鹽、藥等ヲ出タス成都ヲ首府トナス其省會ナリ

廣東ハ北山巖ニシテ山腰水路ヲ斷ツ海濱ノ舟艇蜂屯蟻聚シ洋艘頻リニ泊シ商賈輻輳ス實ニ中外交易ノ首區タリ物産ハ則チ珍珠、絲、紬、穀、菓、蘇、靛、魚、鹽、煤、炭等ヲ出タス廣州ヲ首府トナス其省會ナリ

廣西ハ樹林叢密山谷紛繁ニシテ曠田沃野五穀蕃殖ス物産ハ則チ金、銀、銅、鐵、布、藤、桂皮等ヲ出タス桂林ヲ首府トナス其省會ナリ

雲南ハ山川森密ニシテ氷内ニ金多ク地利沮洳ニシテ田畝卑濕ナリ土司ノ苗裔各自ニ分居ス物産ハ則チ茶、鹽、金、石等ヲ出タス雲南ヲ首府トナス其省會ナリ

貴州ハ地苗猺ニ近クシテ人多ク強悍五穀豐ナラス地形狹隘ナリ物産ハ則チ金、銀、銅、蘇、水銀、硃砂、禽獸、木料等ヲ出タス貴陽ヲ首府トナス其省會ナリ

十八省ノ外又屬國アリ滿州蒙古新疆西藏ト名ツク其畧左ニ掲ク

滿州志

滿州ハ亞細亞ノ東ニ在リ緯線赤道ノ北四十二度ヨリ起リ五十八度ニ至テ止マル經線支那北京ノ偏東四度（即チ我東京ノ偏東十九度）ヨリ起リ二十六度（即チ我偏東三度）ニ至テ止マル東ハ日本海ニ界シ西ハ蒙古ニ連ナリ南ハ高麗東海ニ至リ北ハ峨羅斯ニ接ス長サ三千里（即チ我四百二十四里）濶サ四千里（即チ我五百六十五里）之ヲ總計スルニ二千三百萬方里（即チ我四十五萬八千八百八十六方里）人口稀疎ニシテ二百萬ニ過キス山峰環峙シテ形勢綿亘シ密林叢菁ニシテ地氣凝結シ朔風凜列雨雪霏々タリ北方ハ嚴寒ニシテ土地荒蕪シ居民鮮少專ハラ漁獵ヲ以テ業トナス南ハ漸ク和暖ニシテ土壤稍肥ヘ民多ク墾開シテ農事ニ勤メ益ヲ獲ル頗フル多シ中央ハ皆原野砂鹽ニシテ禽獸ヲ遊牧スルニ寂モ宜シ河ノ大ナル者北ニ在ルヲ黑龍江ト曰ヒ南ニ在ルヲ鴨綠江ト曰フ湖アリ比爾湖ト曰ヒ烏倫湖ト曰ヒ興該湖ト曰フ

技藝ハ甚タ精巧ナラス商賈貿易頗フル盛シナリ土人專ハラ釋教ヲ崇奉ス朝綱ニ至テハ權支那ニ屬スルヲ以テ律令法度総テ其國ト異ナルナシ

通國分チテ三省トナス一ヲ盛京ト曰フ清祖基ヲ肇ムルノ地タリ將軍ヲ設ケテ都統セシム奉天府ヲ京都トナス五部アリ宮闕巍峩衙署輪奐繁華富麗ニシテ景色新タナリ官員ノ統轄皆北京ニ同シ一ヲ吉林ト曰ヒ一ヲ黑龍江ト曰フ亦各將軍ヲ設ケテ都統セシム大小ノ臣工一ナラス均シク滿州蒙古支那三國ノ人ニ係ル物産ハ則チ人參アリ甚タ貴重ナリトス毎歳官符ヲ奉シテ之ヲ採取ス虎、豹、熊、羆、狐、貂、獺、鼠、珍珠等均シク以テ進貢ス其他五穀、藥材ヲ産ス金、石ニ至テハ甚タ開採セサルカ故ニ之ヲ詳カニシ難シ

蒙古志

蒙古ハ亞細亞ノ中央ニ在リ緯線赤道ノ北三十五度ヨリ起リ五十二度ニ至テ止マル經線支那北京ノ偏東七度（即チ我東京ノ偏西十六度）ヨリ起リ偏西三十四度（即チ我偏西五十七度）ニ至テ止マル東ハ滿州ニ界

シ西ハ新疆、西域ニ連ナリ南ハ支那、西藏ニ至リ北ハ峨羅斯ニ接ス長サ四千里（即チ我五百六十五里）濶サ五千里（即チ我七百六里）之ヲ總計スルニ四百五十萬方里（即チ我八萬九千七百八十二方里）人口寡少ニシテ二百萬ニ出テス地勢中央ト西トハ高原沙漠其餘ハ則チ山嶺環繞シ湖河相間ハリ水鹹ニ土瘠セ穀、菓、草、木稀疎ナリ河ノ長キ者ヲ巴陵格河、札布噶河、疴農河、喀魯倫河ト曰ヒ湖ノ大ナル者ヲ青海、烏布薩泊、齊桑泊、伊克阿拉ト曰フ氣候嚴寒ニシテ棲止シ難ク風砂礫ヲ揚ゲテ雨雪紛霏タリ夏日薫爍

天氣酷熱ニシテ民俗強悍渺茫タル沙漠ニ居住ス春ハ則チ獸ヲ驅テ溪邊ニ游牧シ常ニ定所アルナク冬ハ則チ山坡風ヲ避ルノ處ニ在テ雪ヲ以テ飲トナシ餘レル所ノ草萊ヲ以テ牲畜ヲ養ナヒ牛肉ヲ食ヒ馬酪ヲ飲ミ粗茶葉ヲ喫シ牛乳ヲ以テ酒トナス四時身ニ皮ヲ穿チテ永ク沐浴セス氈ヲ敷キ帳ヲ設テ家トナシ男女皆乘馬ヲ喜ンテ田獵馳騁シ絶テ遠慮才識アルナシ

朝綱ニ至テハ其始メ邦土分列シテ更ニ定制アルナシ元ノ成吉思可汗出テヽ衆汗ヲ賓服

スルニ迨リ始メテ部落ヲ設立シテ極大國都ヲナシ向フ所利ナラサルハナシ嗣子位ヲ繼キ歷世無道ニシテ人心離渙シ遂ニ清ノ屬國トナル王アリ貝子、貝勒（共ニ王ノ親姪々孫ニシテ貝勒ハ貝子ニ下ル等）一アリ公、侯、伯、子、男等ノ爵世々相襲キ各汗皆貢ヲ納レテ毎歲必ス朝覲ス

佛教ヲ崇奉ス其僧自カラ菩薩ノ地位ニ居ル土人之ヲ視ルヿ神ノ如シ

通國分チテ四段トナス一ヲ内蒙古ト曰フ沙漠ノ南ニ在リ六盟、二十四部落、四十九旂、二千家ニ分ツ一ヲ外蒙古ト曰フ大漠ノ北ニ踰ユ四路、八十六旂ニ分チ各路ニ一汗ヲ置ク一ヲ車臣汗ト名ツケ一ヲ土謝圖汗ト名ツケ一ヲ三音諾汗ト名ツケ一ヲ札薩戈圖汗ト名ツク各職守アリテ紊越スルヲ得ス一ヲ烏理雅蘓台ト曰フ外蒙古ノ西ニ在リ其地買賣城アリ支那、峨羅斯貿易ノ所トナス屬スル所ノ科布多ハ十一部落、三十旂ニ分チ唐努烏梁海ハ四十六佐領ニ分ツ一ヲ庫可諾爾ト曰フ即チ青海ナリ五部落、二十九旂ニ分ツ其餘ノ小部ハ屈指スルニ暇アラス物產ハ

則チ玉、騾馬、駱駝、野獸、鐠鐠鈷、呢、大黄、蘑菇等ヲ出タス

新疆志

新疆ハ亞細亞ノ中央ニ在リ緯線赤道ノ北三十六度ヨリ起リ四十九度ニ至テ止マル經線支那北京ノ偏西二十度（即チ我東京ノ偏西四十三度）ヨリ起リ四十五度（即チ我偏西六十八度）ニ至テ止ル東ハ甘肅ニ連ナリ南ハ崑崙山戈壁ニ接シ西ハ西域ニ界シ北ハ阿爾泰山ニ至ル長サ一千里（即チ我一百四十一里）濶サ四千里（即チ我五百六十五里）之ヲ總計スルニ二百萬方里（即チ我三萬九千九百三方里）戸口散處シテ三百餘萬ニ下ラス其他天山ヲ以テ分岐シ南ヲ天山南路ト曰ヒ之ヲ首トナス北ヲ天山北路ト曰ヒ之ニ次ク南路ハ大半戈壁ニシテ三面山崗ヲ列ス内ニ原野アリ皆砂磧、石灘、鹵鹹ノ地ニシテ四時風多ク春間尤モ甚タシ風ノ至ルヤ天地黒暗黄霾ヲ起シ木ヲ拔キ沙ヲ飛シテ人畜來往ヲ絶ス雨澤缺少ニシテ沙石炎日ノ為ニ薫爍スルカ故ニ夏月酷熱多ク地氣高燥ニシテ天山ト相近キカ故ニ冬日嚴寒ナリ開墾播種ハ惟ヽ山流雪水ニ依テ以テ灌溉ヲ

資ル是ヲ以テ草木鮮少ナリ河ノ大ナル者ヲ塔里木ト曰フ數河滙歸シテ羅布泊博斯騰泊ニ沿流ス四面砂磧ニシテ耕少ナク牧多シ南路分チテ八城トナス一ヲ哈拉沙拉ト曰フ城ニ屬スル村十有五庫爾勒布古爾ハ其最モ著名ナル者ニシテ貿易平庸民多ク田獵ス一ヲ庫車ト曰フ城ニ屬スル村二十七共ニ緊要ノ地トナス途間一株ノ柳樹アリ周リ十餘圍ニシテ樹孔ヨリ清泉流出シ味酒醴ノ如ク甘美常ニ異ナリ是ヲ靈泉トナス一ヲ阿克蘇ト曰フ城ニ屬スル村三十六

内ニ石洞ノ温泉アリ之ニ浴スレハ以テ疾ヲ療スヘシ一ヲ喀什噶ト曰フ城ニ屬スル村十有六商賈聚集ノ所トナス一ヲ葉爾羌ト曰フ城ニ屬スル村最モ多クシテ其大ナル者二十七浮圖、古塚等ノ遺跡頗フル多ク貿易ノ通衢往来ノ要地トナス罪人ノ遠ク邊疆ヲ戍ル者多ク此ニ聚マル一ヲ和闐ト曰フ城ニ屬スル村六相傳フ内ニ金礦アリト然レ𪜈甚タ開採セス一ヲ烏什ト曰フ城ニ屬スル村十有一其土一叢ノ蟠柳アリ森然トシテ挺秀シ枝幹疎大ニシテ高サ數十丈ニ

至ル一ヲ英吉沙ト曰フ城ニ属スル村十有七アリ北路ハ沙漠紛飛シ山嶺險峻ニシテ氷雪凝聚道路崎嶇樹木疎少ナリ火山ノ遺跡アリテ地常ニ震動ス冬日ハ極寒ニシテ夏日ハ炎烈ヲ催ス罪ヲ犯ス者多ク此ニ流サレテ開墾耕種ス河ノ大ナル者ヲ伊犂河ト曰ヒ湖ノ大ナル者ヲ齋桑ト曰ヒ特穆爾圖ト曰フ岸堤蘆葦多ク藪澤游牧ニ宜シ城分チテ三トナス伊犂ト曰ヒ庫爾喀喇烏蘇ト曰ヒ塔爾巴哈台ト曰フ伊犂ハ蓋シ其省城ナリ

土人漢ノ時ヨリ常ニ支那ヲ侵擾ス元ニ迨テ成吉思可汗之ヲ征服ス明ノ時又之ニ叛ス清ノ乾隆年中ニ及ヒ始メテ平定ス

俗倶ニ回々教ヲ崇奉ス

兵甲六萬ヲ分派シ將軍ヲ設ケテ之ヲ鎮ス辨事大臣ノ管轄其餘ノ統属一ナラス倶ニ満洲蒙古ノ人タリ支那人其員ニ充ツ物産ハ則チ穀、菓、瓜、菜、五金、玉、石、野禽、異獸、皮貨等ヲ出タス

西蔵志

西蔵ハ亞細亜ノ中央ニ在リ緯線赤道ノ北二十

八度ヨリ起リ三十五度ニ至テ止マル經線支那北京ノ偏西十六度（即チ我東京ノ偏西三十九度）ヨリ起リ四十度（即チ我偏西六十三度）ニ至テ止マル東ハ四川（スエーチュン）ニ至リ西ハ北印度ニ界シ南ハ雪山（ヒマラヤ）ニ接シ北ハ崑崙（クヲンロン）山、青海（チンハイ）ニ連ナル長サ一千七百里（即チ我二百四十里）濶サ七千里（即チ我九百八十九里）人口稠密（ニギヤカ）其地四圍山嶺險峻ニシテ高ク霄漢（オホソラ）ニ連ナリ風烈異常ニシテ白雪懸崖（クカキキシ）ニ堆カク烟瘴（ケムキキ）人體ヲ侵害ス中央ニ曠野高原アリ亞細亞（アジア）ノ河多ク源ヲ此ニ發ス更ニ印度（インヂユス）河、藏布（ザンボ）江アリテ水派東西ニ分流ス湖ノ最モ大ナル者ヲ騰噶里海（テングリール）、巴哈湖（ボツカ）、伊克湖（イケ）ト曰フ又郎合池（ロンホ）、馬白達賴池（マベタライ）アリ人民之ヲ敬拜シ呼ンテ聖湖トナス氣候ハ寒熱俱ニ太甚シク夏秋ハ高陸荒寒ニシテ深谷酷熱ナリ冬春ノ際ニ至テハ風力殊ニ強クシテ沙塵空中ニ飛散ス田土瘠薄（ヤセ）樹林疎少ニシテ山場平陸均シク耕種シ難シ支那、印度ト貿易極メテ繁シト雖ヒ往来ノ商客常ニ道路ニ苦シム山ノ崩ル丶處地ノ裂ル處高橋縄索（ハ）ヲ設ケ攀援（ヨチヒク）シテ過ルニ至ル技藝製造ハ大抵皆精巧ナリ物産ハ則チ珍珠（レンシユ）、玉寶、毛貨等ニ止マル

其國古ヘ荒遠ニシテ考ヘ難シ成吉思可汗ニ迨リ始メテ征服ス後チ屢相侵擾シ清ノ康熙ニ至テ遂ニ平定ス爾来駐藏ノ大臣ヲ遣テ政務ヲ管理ス

文詞兼備ス而シテ其文理甚タ解スヘカラス風俗ハ則チ女強クシテ男弱ク一家兄弟數人一妻ヲ共ニシテ以テ耻トナサス黄氏、釋教ヲ崇奉ス僧ニ權勢アリ其首ヲ喇嘛ト稱シ亦活佛ト名ツケ凡ソ事是カ命ヲ聽カサルハナシ寺利紛繁僧徒地ニ遍子シ

通國分チテ二藏トナシ之ヲ前後ト曰フ前藏ニ八城アリ布達拉ハ乃チ京都ナリ達賴喇嘛達賴ハ大ノ義以テ尊稱トナス喇嘛ハ佛者ヲ謂フ及ヒ支那ノ前藏大臣此ニ駐マル後藏ニ七城アリ札什倫布ハ乃チ首城ナリ札什喇嘛及ヒ後藏大臣此ニ駐マル而シテ毎歳支那ニ進貢ス物産ハ則チ牲畜、五金等ヲ出タス魚族甚タ繁シト雖モ佛教ノ禁止ニ因リ敢テ之ヲ食ハス

高麗國志 又朝鮮ト名ク

高麗ハ亜細亞ノ東ニ在リ緯線赤道ノ北三十四

度ヨリ起リ四十三度ニ至テ止マル經線ヲ那北京ノ偏東八度（偏西十五度ヨリ起リ十八度即チ我偏西五度ニ至テ止マル）東ハ日本海ニ界シ西ハ支那東海ニ至リ南ハ海峽ニ接シ北ハ滿州ニ連ナル長サ九百里即チ我一百二十七里濶サ五百里即チ我七十一里面積ヲ總計スルニ三十萬方里即チ我五千九百八十五方里人口稠密其地海ニ濱シテ島嶼羅布シ遍處港汊ニシテ停泊穩便山川絡繹峯嶺翠ヲ疊ミ田土豊肥ニシテ稼穡繁ク穀菓盛ヲ極ム氣候寒凉ニシテ氷雪凝積シ霧露迷離ス

朝綱ニ至テハ歷代相傳フ其國初メ燕ニ屬ス漢ノ時姓ハ高名ハ句麗ト云者アリテ驪ニ乘リ奔テ其地ニ至ル之ニ因テ遂ニ高麗ト曰フ本名ハ乃チ朝鮮ナリ後チ屢叛擾ス唐ノ時ニ及シテ漸ク服從シ始メテ貢ヲ支那ニ入ル爾来國王其冊封ヲ受ケテ職ヲ奉ス亦嘗テ豊臣氏ノ来攻ニ値ヒ大敗シテ命ヲ日本ニ聽ク政事ハ惟君之ヲ主ル令代ノ王ヲ「ジョン チー」ト曰フ文學ハ乃チ支那ニ亞ク言語技藝間同シカラサルアリ貿易ニ至テハ止日本、支那ト通商ス

奉スル所ノ教士ハ則チ儒ヲ脩ノ俗ハ則チ佛ヲ崇ス

通國八省ニ分ツ一ヲ京畿ト名ツク乃チ京都ナリ首府ヲ漢陽ト名ツク國ノ中央ニ在リ又平安京州等ノ府アリ物産ハ則チ人參、金、銖、鐵、錫、米、麻、禽獸等ヲ出タス鱘魚甚タ多シ

東洋群島志原本東洋羣島志初メニ我國ヲ舉ケ次ニ琉球ヲ錄シ而シテ浙江以外ノ諸島嶼臺灣等ニ及フ我國並ヒニ琉球ハ已ニ上文ニ臚列スルヲ以テ載スル左ノ如シ

浙江ノ外ニ數百島アリ内ニ灣泊ノ處多クシテ商船絡繹景色新タナリ島ノ寘モ大ナル者ヲ舟山ト曰フ長サ一百五十里即チ我二十一里濶サ七十里即チ我土沃ニシテ民勤ム都城ヲ定海ト曰フ又普陀山アリ俗呼ンテ極樂園トナス僧徒廣衆寺刹紛繁ナリ

臺灣島ハ福建ト相嚮フ周リ一千里即チ我一百四十一里總計六萬方里即チ我一千一百九十七方里内ニ大山アリテ冰雪凝凍ス又數火山ノ遺跡熱河火井等アリテ地震風烈ス河流ハ多ク迅快ニシテ平原草木茂盛ナリ島中二土ニ分レ支那人ハ西ニ居リ土番ハ

東ニ居ル天氣清和ニシテ風光秀麗(ウラくカ)甚タ嘉スルニ堪エタリ物産ハ則チ金、銀、穀、菓、木、石等ヲ出タス厦門(アモイ)、福州(フーチュウ)ト貿易ス

○此地往昔ヨリ主宰ナシ明ノ末巨盗(オホドロウ)海徵(ハイチン)ノ顔振泉ト云者我九州ノ邊民ヲ率ヒ始メテ此島ニ據ル成功ノ父鄭芝龍亦此黨ニ入リ振泉ノ死後酋長(カシラ)トナリテ海上ニ横行(イリマハス)ス後チ芝龍明ニ歸シテ此地獨リ邊民ノ占據(スマヒ)スル所トナル我元和七年荷人(ホルランド)欺テ之ヲ奪ヒ酋長ヲ置テ土酋ヲ畏伏(キリシタガヘル)ス寛文元年鄭成功(コクセンヤ)明ヨリ入テ荷(ホルランド)ノ酋長ヲ降シ臺灣(フヲルモサ)ヲ改メテ東寧(トシニシ)トナシ以テ明ノ恢復(トリカヘシ)ヲ謀ル成功歿シテ後チ鄭經、鄭克塽相繼テ此地ニ據ル天和二年克塽和ヲ講スルニ及ヒ初メテ清ノ版圖(リヤウヅシ)ニ入リ又臺灣(フヲルモサ)ノ號ニ復ス全島分レテ東西二部トナリ東ヲ生蕃ト稱シ西ヲ熟蕃ト云フ西部ハ既ニ支那ニ歸スルト雖トモ東部ハ敢テ其所轄(シハイ)ニ屬セス各種ノ野蠻(ヱビスドモ)結シテ部落(クミアヒ)ヲナシ言語自ラ異ニシテ文字ナク土地膏腴(コヱル)ナレドモ耕織(タガヘシオル)ノ道ニ暗ク只山野ヲ跋渉(カケメグル)シテ禽獸ヲ屠(ニロス)リ以テ生命ヲ養

ノ他方ノ人時ニ其地ニ至ルアレハ屢〻其殘暴（アダ）ヲ被リテ歸ラサル者アリ西部ノ人亦甚タ之ヲ恐怖（イヤガル）ス

彭湖（パンフー）ハ共ニ三十六島地面下陥（ヒキヽ）ニシテ山谷稀疎（マレ）艸木荒蕪（アレル）ス

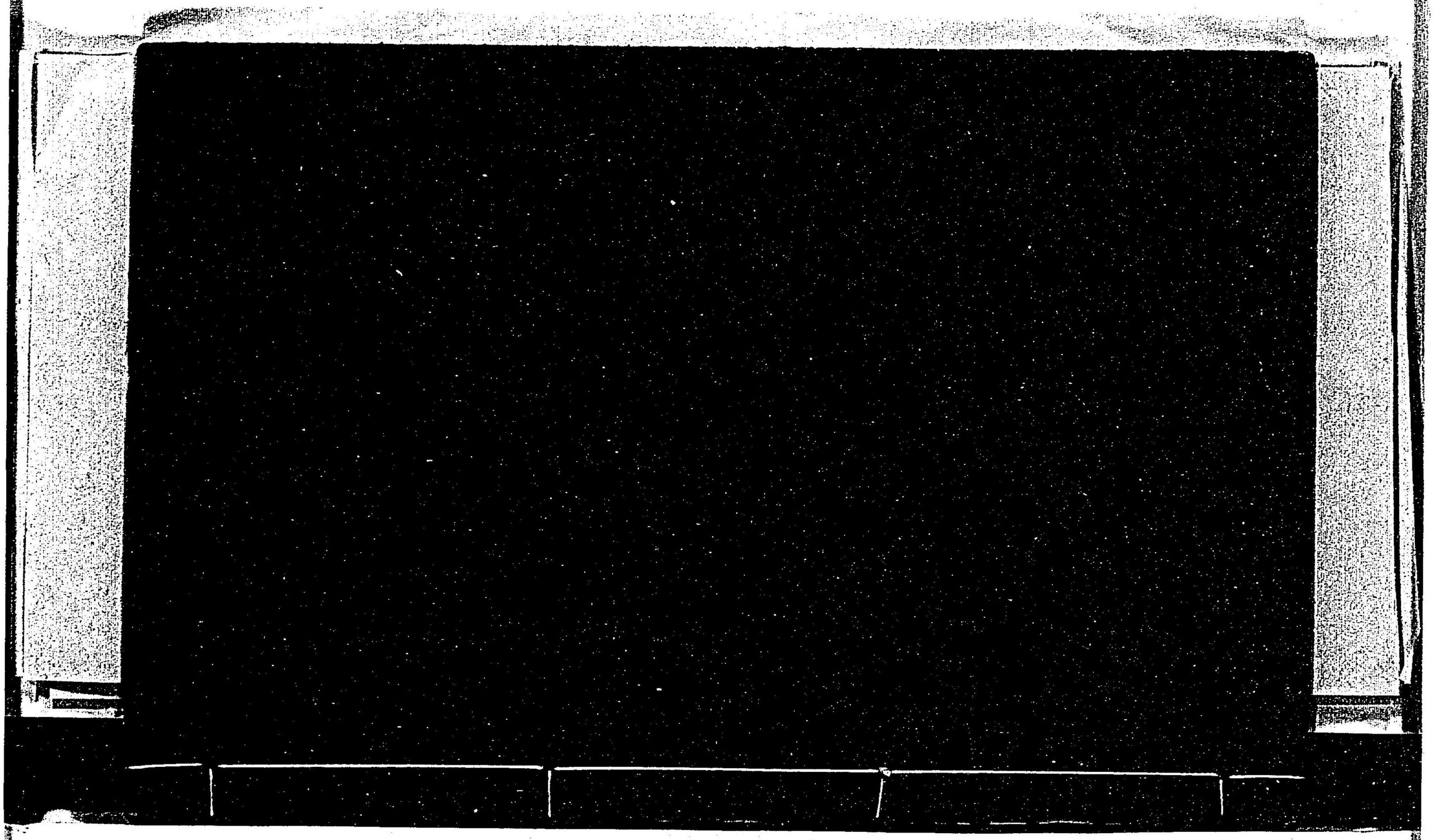
其民漁ヲ以テ生ヲ營ナム

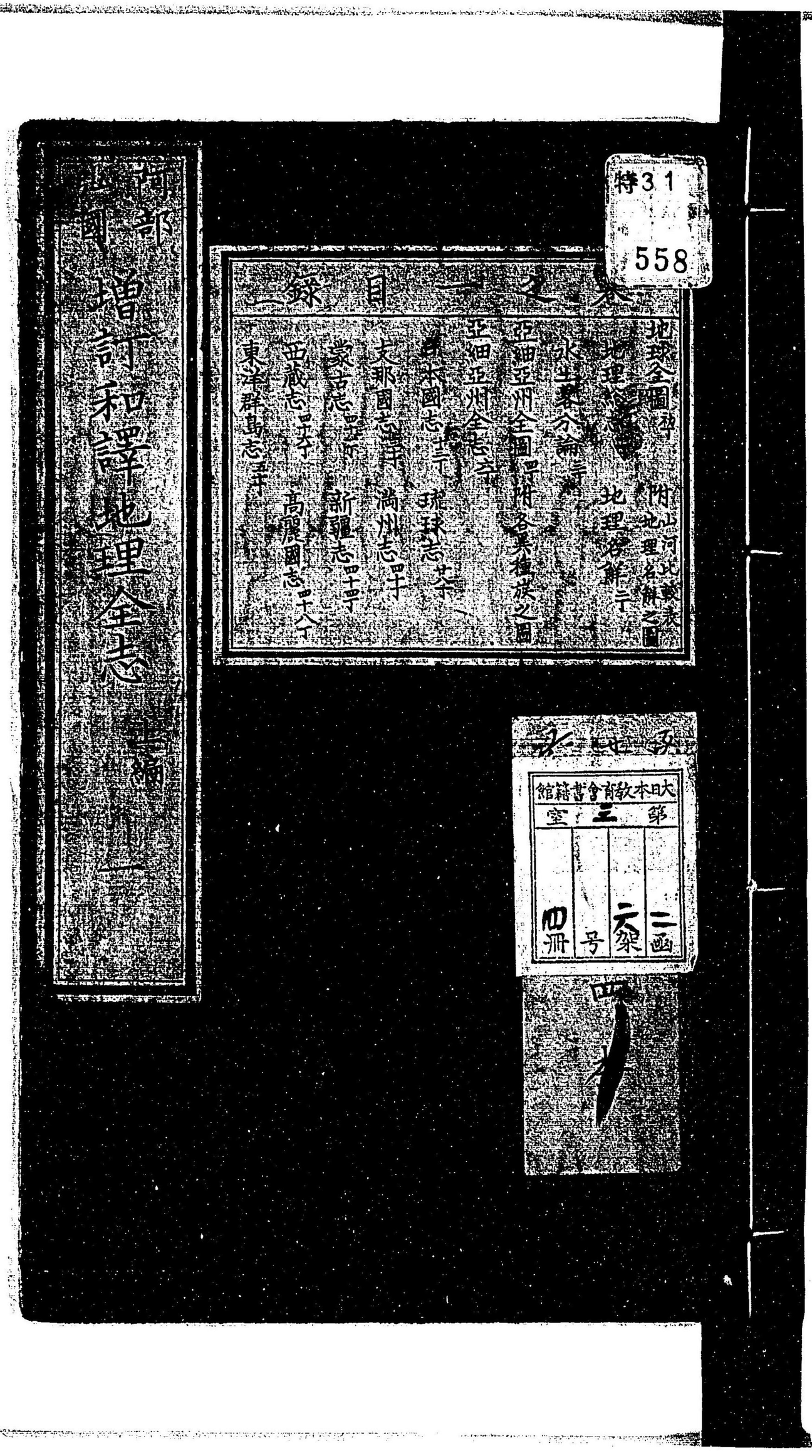
瓊州（ケヤンチュウ）ハ長サ六百里（即チ我ハ十五里）濶サ二百三十里（即チ我三十二里）廣東（クワントン）ノ外ニ在リ内ニ峯嶺多クシテ天氣濕瘴（シツケル）ナリ而シテ日用ノ資自カラ乏シカラズ

其民多ク劫掠（モノドリ）ヲ行ナヒ禮義ヲ知ラス教化ニ向背（シタガヒソムク）ス

物産ハ則チ穀菓、檳榔、沉楠、香木等ヲ出タス

和譯地理全志上篇卷一終





022380-001-2

特31-558

和訳地理全誌（増訂）上篇

慕　維廉（ウイルレム）／著

M7

ADA-0992